

# 厚真町の復旧・復興とまちづくりに関するアンケート 集計結果

<b>1. 実施概要</b> .....	<b>2</b>
対象者、実施期間、実施方法、回収状況、地区別の回収状況（問 18,単回答） .....	2
<b>2. 集計結果</b> .....	<b>4</b>
<b>(1) 回答者の属性</b> .....	<b>4</b>
1) 性別（問 16,単回答） .....	4
2) 年齢（問 17,単回答） .....	4
3) 現在の住まい（問 19,単回答） .....	4
4) 職業（問 20,単回答） .....	5
<b>(2) 胆振東部地震の被害からの復旧・復興状況について</b> .....	<b>6</b>
1) 1年前に比べた回復状況（問 1,単回答） .....	6
2) 今後の見通しへの不安（問 2,単回答） .....	11
3) 現在不安に思っていること（問 3,複数回答） .....	16
4) 復旧・復興に向けて特に期待する取り組み（問 4,3 つまで回答） .....	20
5) 復旧・復興に向けて不安に思うことや必要だと思うこと（問 5,自由記述） ..	23
<b>(3) まちづくり全般について</b> .....	<b>25</b>
1) 今後の厚真町での居留意向（問 6,単回答） .....	25
2) 住み続けたい理由（問 7,複数回答） .....	27
3) 町外へ引っ越したい理由（問 8,複数回答） .....	30
4) 自分の住んでいる地区の活動に対する感じ方（問 9,単回答） .....	33
5) 現在の厚真町の活力（問 10,単回答） .....	38
6) 活力がある項目（問 11,単回答） .....	40
7) 持続可能で活力ある厚真町の実現に向けて特に期待する政策（問 12,3 つまで回答）	45
8) 災害につよいまちの実現に向けて特に重要な取り組み（問 13,3 つまで回答）	48
9) 厚真町に住むことや訪れることを勧めたいか（問 14,単回答） .....	51
10) これからも大事にしたい厚真町の魅力（問 15,自由記述） .....	53
<b>(4) 厚真町のまちづくりについての意見・要望</b> （自由記述） .....	<b>54</b>
<b>(参考) アンケート票</b> .....	<b>58</b>

## 1. 実施概要

第4次総合計画（後期基本計画）と復旧・復興計画（第3期）の策定を進めるにあたり、復旧・復興の状況や今後のまちづくりについての町民の意見を伺うため、アンケート調査を実施した。

対象者： 無作為に抽出した18歳以上の町民800名  
 実施期間： 配布7月31日、回答期限8月16日  
 実施方法： 郵送配布、郵送回収  
 回収状況： 309票（回収率38.6%）

### 地区別の回収状況（問18,単回答）

北部地区、厚真地区、上厚真地区の3区分でみた回収状況は、北部地区で約38%、厚真地区で約36%、厚南地区で約34%であった。字別の回収状況は、次頁のとおりである。

（3区分別の回収状況）

	北部地区	厚真地区	厚南地区	回答者計	無回答
配布数	104	415	281	-	-
回答数	39	151	96	286	23
回収率	37.5	36.4	34.2	-	-

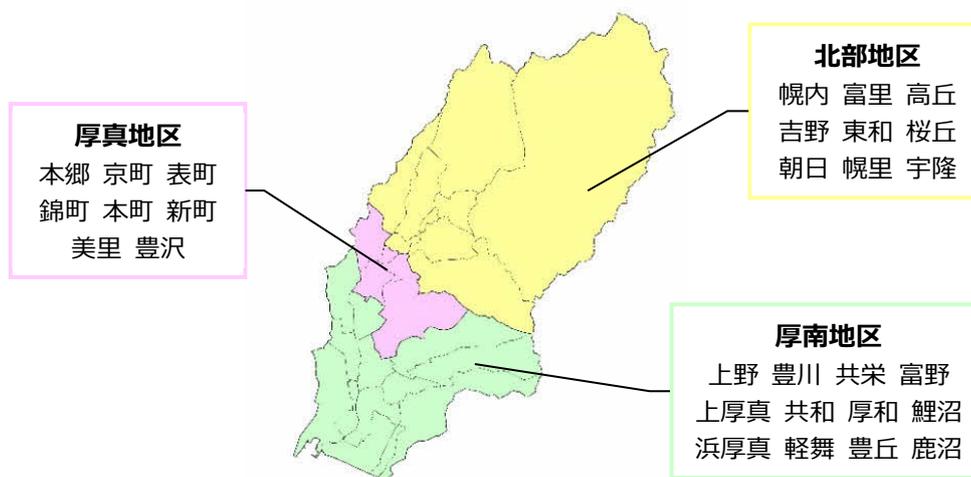
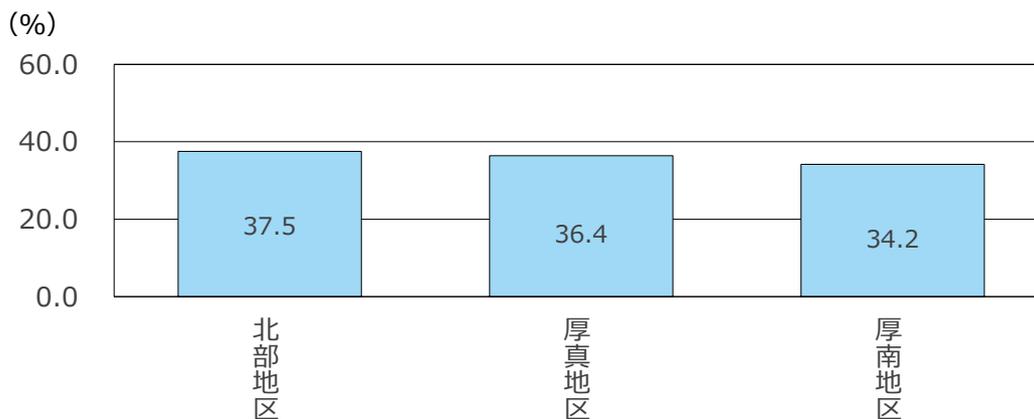


図.3 地区の地区区分

(字別の回収状況)

	幌内	富里	高丘	吉野	東和	桜丘	朝日	本郷
配布数	13	10	7	1	15	6	24	101
回答数	6	2	4	0	8	4	9	35
回収率	46.2	20.0	57.1	0.0	53.3	66.7	37.5	34.7
	幌里	京町	表町	錦町	本町	新町	宇隆	美里
配布数	12	33	94	12	21	75	16	16
回答数	2	14	37	6	7	25	4	10
回収率	16.7	42.4	39.4	50.0	33.3	33.3	25.0	62.5
	豊沢	上野	豊川	共栄	富野	上厚真	共和	厚和
配布数	63	13	12	14	17	114	24	10
回答数	17	2	6	6	7	36	9	1
回収率	27.0	15.4	50.0	42.9	41.2	31.6	37.5	10.0
	鯉沼	浜厚真	軽舞	豊丘	鹿沼	回答者計	無回答	
配布数	8	10	24	13	22	800	-	
回答数	1	1	12	4	11	286	23	
回収率	12.5	10.0	50.0	30.8	50.0	-	-	

(%)

100.0

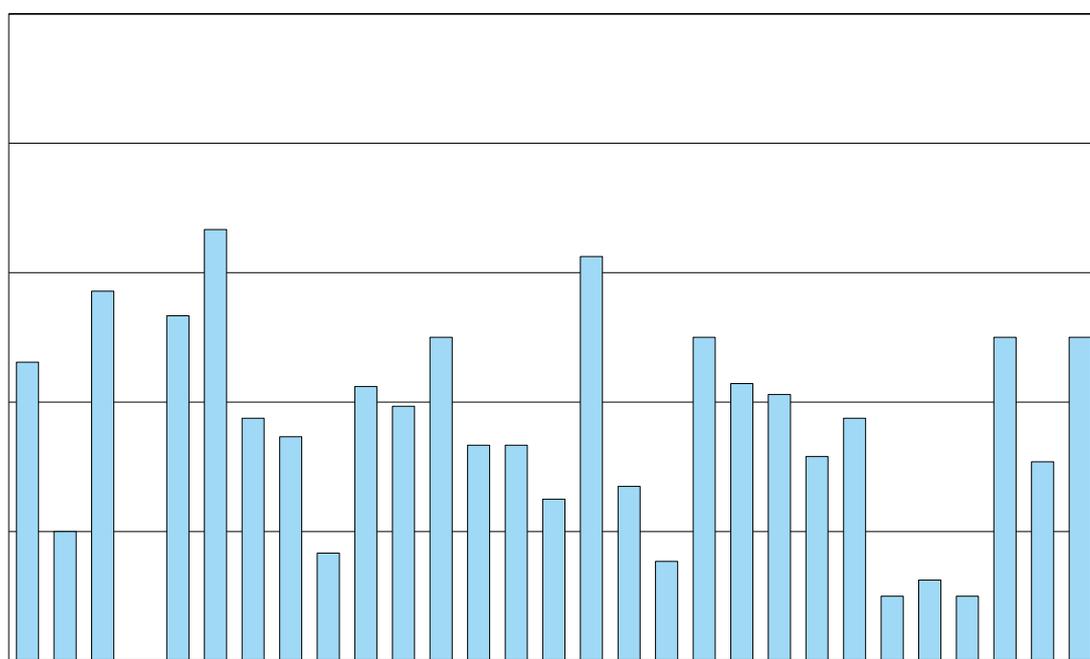
80.0

60.0

40.0

20.0

0.0



幌内 富里 高丘 吉野 東和 桜丘 朝日 本郷 幌里 京町 表町 錦町 本町 新町 宇隆 美里 豊沢 上野 豊川 共栄 富野 上厚真 共和 厚和 鯉沼 浜厚真 軽舞 豊丘 鹿沼

## 2. 集計結果

### (1) 回答者の属性

#### 1) 性別 (問16,単回答)

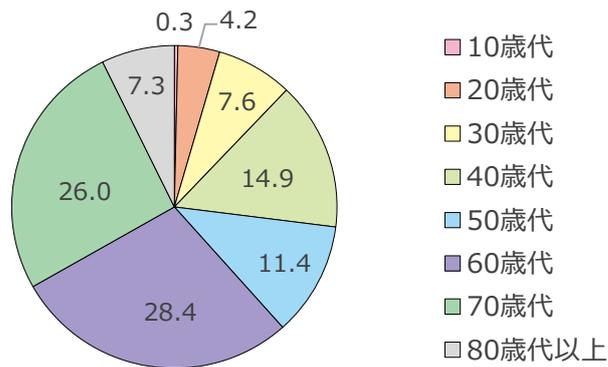
回答者の性別は、「男性」が約51%、「女性」が約49%であり、男女ともに同程度の回答が得られた。

	男性	女性	回答者計	無回答
回答数	146	141	287	22
構成比	50.9	49.1	100.0	-

#### 2) 年齢 (問17,単回答)

回答者の年齢は、「60歳代以上」が約62%、「10歳代から50歳代まで」が38%であり、半数以上が高齢者である。年代別の内訳は以下のとおりである。

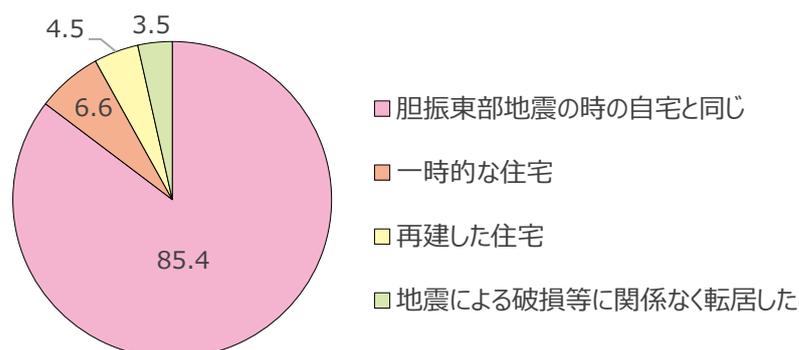
	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上	回答者計	無回答
回答数	1	12	22	43	33	82	75	21	289	20
構成比	0.3	4.2	7.6	14.9	11.4	28.4	26.0	7.3	100.0	-



#### 3) 現在の住まい (問19,単回答)

回答者の現在の住まいは、「胆振東部地震の時の自宅と同じ」が約85%と最も多く、次いで「一時的な住宅」が約7%、「再建した住宅」が約5%である。

	胆振東部地震の時の自宅と同じ	一時的な住宅	再建した住宅	地震による破損等に関係なく転居した	回答者計	無回答
回答数	245	19	13	10	287	22
構成比	85.4	6.6	4.5	3.5	100.0	-



#### 4) 職業 (問20,単回答)

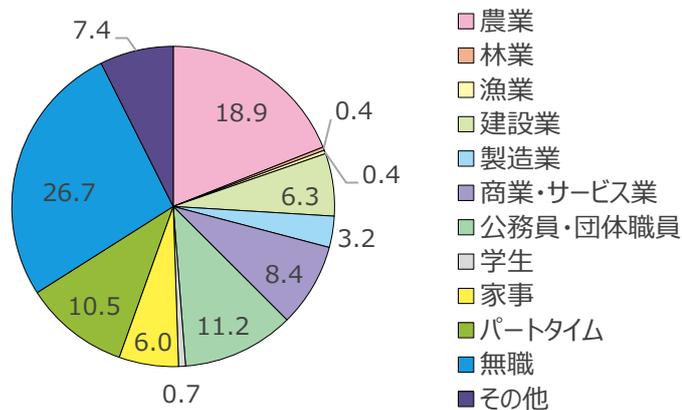
回答者の職業は、「無職」が約27%と最も多く、次いで「農業」が約19%、「公務員・団体職員」が約11%である。

	農業	林業	漁業	建設業	製造業	商業・サービス業	公務員・団体職員	学生
回答数	54	1	1	18	9	24	32	2
構成比	18.9	0.4	0.4	6.3	3.2	8.4	11.2	0.7

	学生	家事	パートタイム	無職	その他	回答者計	無回答等
回答数	2	17	30	76	21	285	24
構成比	0.7	6.0	10.5	26.7	7.4	100.0	-

#### (「その他」の内容)

- ・会社員
- ・嘱託職員
- ・契約職員
- ・アルバイト的に作業員
- ・電力業
- ・医業
- ・運送業
- ・港湾荷役運送業
- ・観光バス運転手
- ・シルバー人材センター
- ・兼業農家
- ・自営 ハスカップ
- ・水田、畑貸借しています
- ・専業主婦
- ・定年退職



## (2) 胆振東部地震の被害からの復旧・復興状況について

### 1) 1年前に比べた回復状況（問1,単回答）

1年前に比べた回復状況は、「田畑などの農地」や「まちなみ・住宅地の景観」、「人と人とのつながり」、「ご自身の暮らしむき」については、「回復している/概ね回復している」と回答した方の割合が多い。

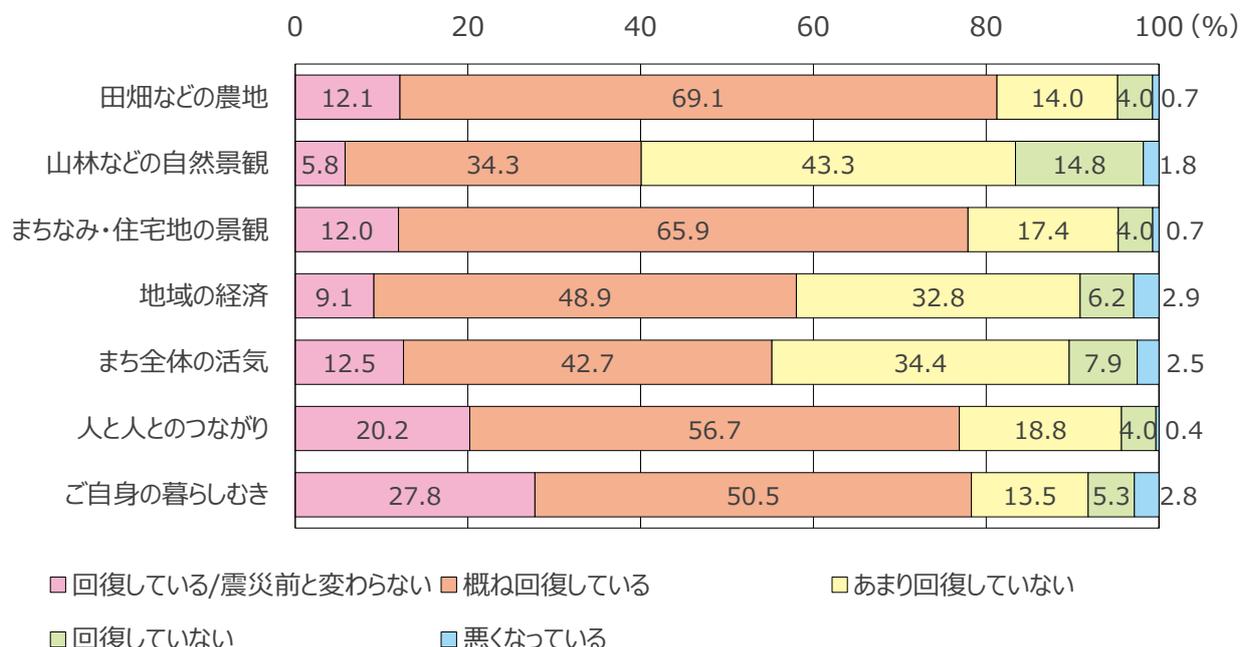
一方、「山林などの自然景観」や「地域の経済」「まち全体の活気」については、「回復していない/あまり回復していない」と回答した方の割合が多い。

#### 【回答数】

	回復している/震災前と変わらない	概ね回復している	あまり回復していない	回復していない	悪くなっている	回答者計	無回答等
田畑などの農地	33	188	38	11	2	272	37
山林などの自然景観	16	95	120	41	5	277	32
まちなみ・住宅地の景観	33	182	48	11	2	276	33
地域の経済	25	134	90	17	8	274	35
まち全体の活気	35	119	96	22	7	279	30
人と人とのつながり	56	157	52	11	1	277	32
ご自身の暮らしむき	78	142	38	15	8	281	28

#### 【構成比】

	回復している/震災前と変わらない	概ね回復している	あまり回復していない	回復していない	悪くなっている	回答者計
田畑などの農地	12.1	69.1	14.0	4.0	0.7	100.0
山林などの自然景観	5.8	34.3	43.3	14.8	1.8	100.0
まちなみ・住宅地の景観	12.0	65.9	17.4	4.0	0.7	100.0
地域の経済	9.1	48.9	32.8	6.2	2.9	100.0
まち全体の活気	12.5	42.7	34.4	7.9	2.5	100.0
人と人とのつながり	20.2	56.7	18.8	4.0	0.4	100.0
ご自身の暮らしむき	27.8	50.5	13.5	5.3	2.8	100.0



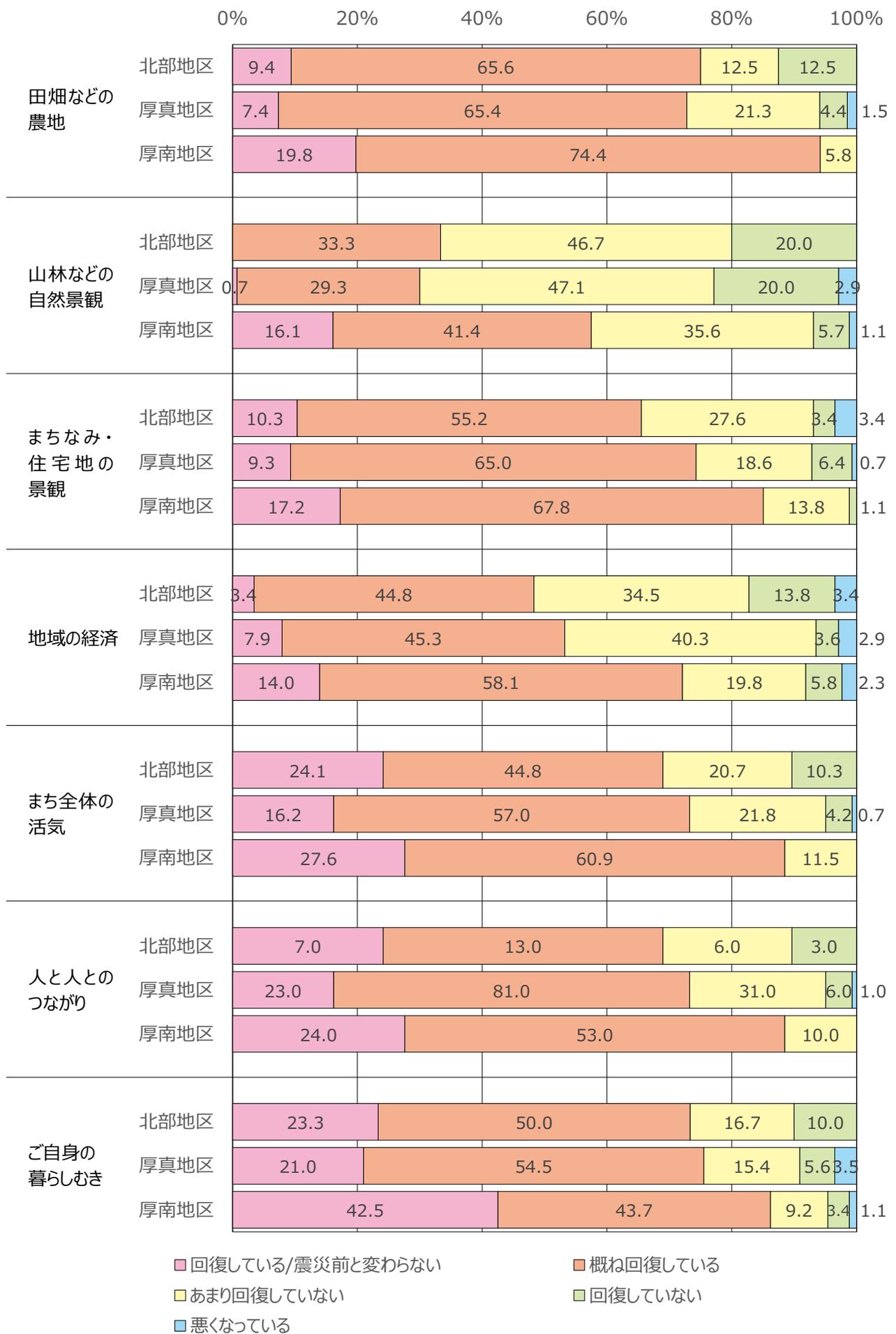
〔1年前に比べた回復状況×地区〕

「回復している/概ね回復している」と回答した方の割合については、

- ・北部地区では、「田畑などの農地」が最も多く、次いで「ご自身の暮らしむき」、「人と人とのつながり」の順に多い。
- ・厚真地区では、「ご自身の暮らしむき」が最も多く、次いで「まちなみ・住宅地の景観」、「人と人とのつながり」の順に多い。
- ・厚南地区では、「田畑などの農地」が最も多く、次いで「人と人とのつながり」、「ご自身の暮らしむき」の順に多い。

【回答数】

		回復している/震災前と変わらない	概ね回復している	あまり回復していない	回復していない	悪くなっている	回答者計	無回答等
田畑などの農地	北部地区	3	21	4	4	0	32	7
	厚真地区	10	89	29	6	2	136	15
	厚南地区	17	64	5	0	0	86	10
	無回答	3	14	0	1	0	18	5
山林などの自然景観	北部地区	0	10	14	6	0	30	9
	厚真地区	1	41	66	28	4	140	11
	厚南地区	14	36	31	5	1	87	9
	無回答	1	8	9	2	0	20	3
まちなみ・住宅地の景観	北部地区	3	16	8	1	1	29	10
	厚真地区	13	91	26	9	1	140	11
	厚南地区	15	59	12	1	0	87	9
	無回答	2	16	2	0	0	20	3
地域の経済	北部地区	1	13	10	4	1	29	10
	厚真地区	11	63	56	5	4	139	12
	厚南地区	12	50	17	5	2	86	10
	無回答	1	8	7	3	1	20	3
まち全体の活気	北部地区	3	11	9	6	0	29	10
	厚真地区	17	56	55	9	5	142	9
	厚南地区	13	43	27	3	1	87	9
	無回答	2	9	5	4	1	21	2
人と人とのつながり	北部地区	7	13	6	3	0	29	10
	厚真地区	23	81	31	6	1	142	9
	厚南地区	24	53	10	0	0	87	9
	無回答	2	10	5	2	0	19	4
ご自身の暮らしむき	北部地区	7	15	5	3	0	30	9
	厚真地区	30	78	22	8	5	143	8
	厚南地区	37	38	8	3	1	87	9
	無回答	4	11	3	1	2	21	2



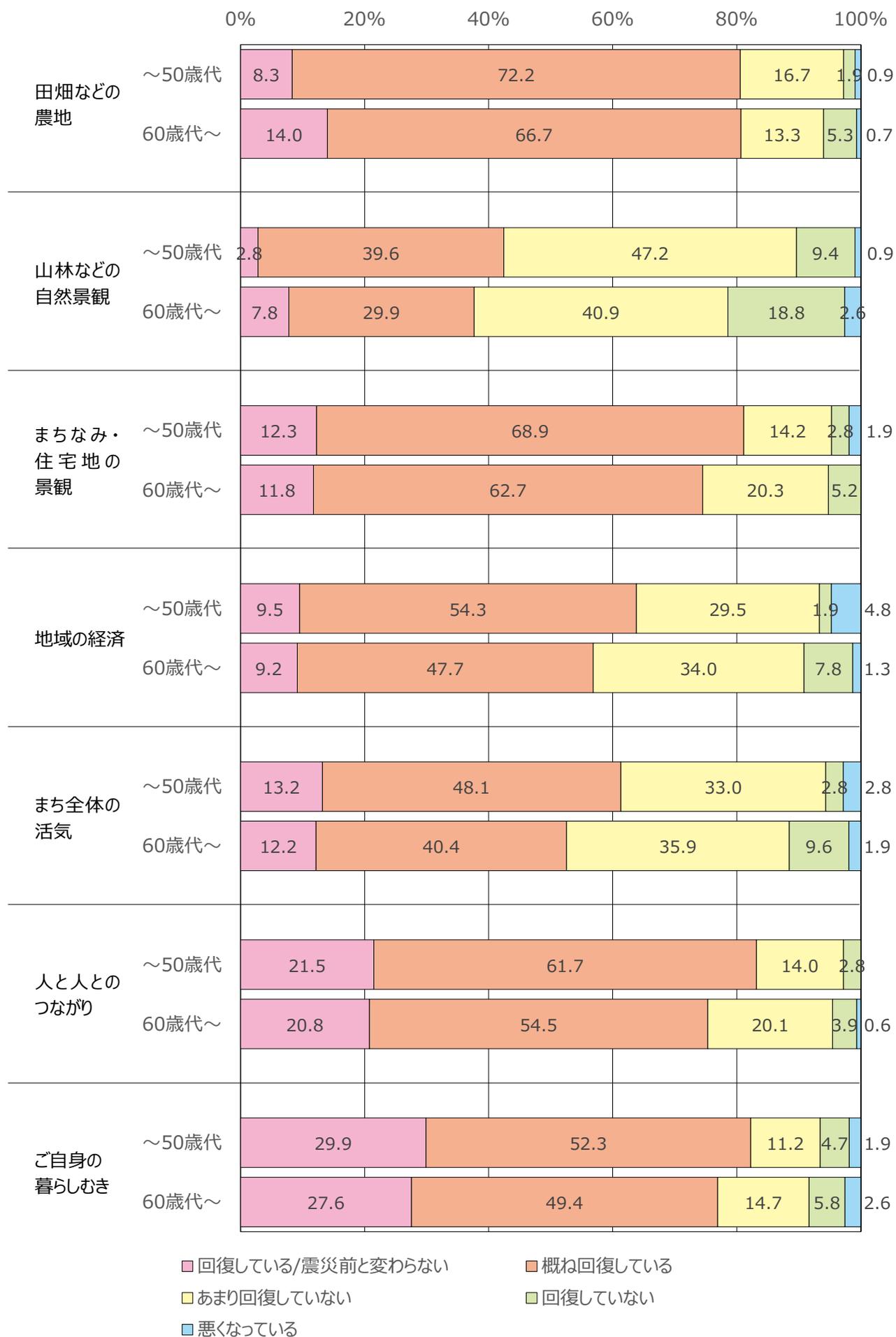
### 〔1年前に比べた回復状況×年齢〕

「回復している/震災前と変わらない」と回答した割合について年齢別にみると、

- ・～50歳代では、「人と人とのつながり」が最も多く、次いで「ご自身の暮らしむき」、「まちなみ・住宅地の景観」の順に多い。
- ・60歳代～では、「田畑などの農地」が最も多く、次いで「ご自身の暮らしむき」、「人と人とのつながり」の順に多い。

### 【回答数】

		回復している/震災前と変わらない	概ね回復している	あまり回復していない	回復していない	悪くなっている	回答者計	無回答等
田畑などの農地	～50歳代	9	78	18	2	1	108	3
	60歳代～	21	100	20	8	1	150	28
	無回答	3	10	0	1	0	14	6
山林などの自然景観	～50歳代	3	42	50	10	1	106	5
	60歳代～	12	46	63	29	4	154	24
	無回答	1	7	7	2	0	17	3
まちなみ・住宅地の景観	～50歳代	13	73	15	3	2	106	5
	60歳代～	18	96	31	8	0	153	25
	無回答	2	13	2	0	0	17	3
地域の経済	～50歳代	10	57	31	2	5	105	6
	60歳代～	14	73	52	12	2	153	25
	無回答	1	4	7	3	1	16	4
まち全体の活気	～50歳代	14	51	35	3	3	106	5
	60歳代～	19	63	56	15	3	156	22
	無回答	2	5	5	4	1	17	3
人と人とのつながり	～50歳代	23	66	15	3	0	107	4
	60歳代～	32	84	31	6	1	154	24
	無回答	1	7	6	2	0	16	4
ご自身の暮らしむき	～50歳代	32	56	12	5	2	107	4
	60歳代～	43	77	23	9	4	156	22
	無回答	3	9	3	1	2	18	2



## 2) 今後の見通しへの不安（問2,単回答）

「良くなると思う/不安はない/あまり不安はない」と回答した方の割合については、「まちなみ・住宅地の景観の再生」が約69%と最も多く、次いで「人と人とのつながり」が約67%、「田畑などの農地の再生」が67%である。

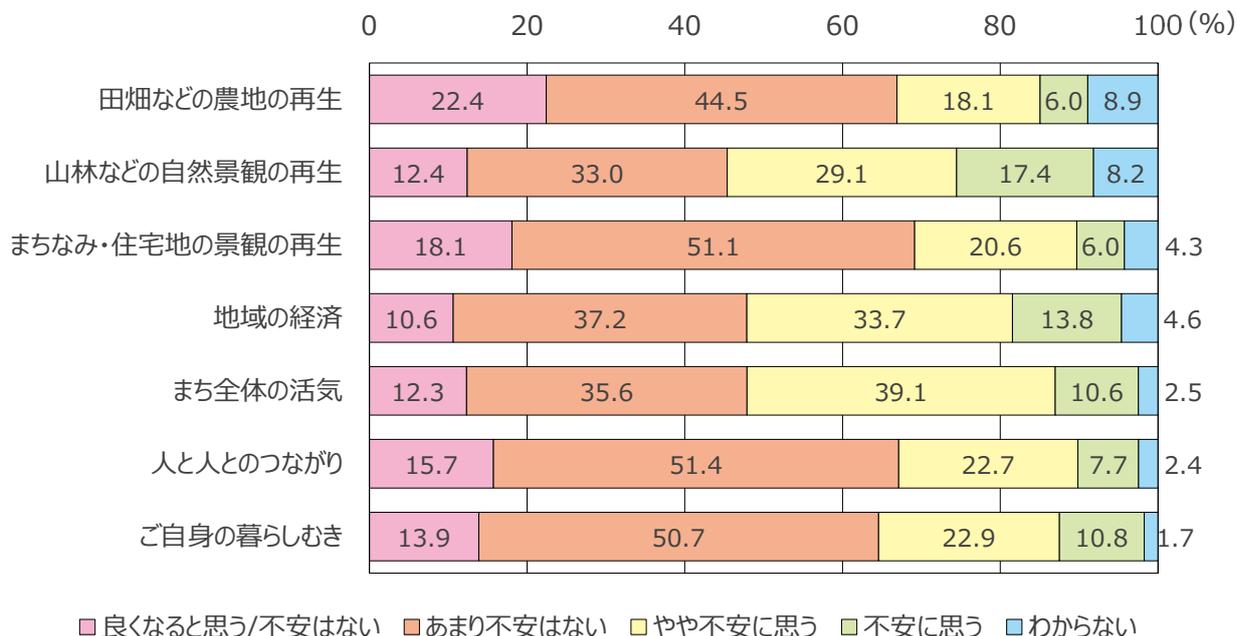
また、「不安に思う/やや不安に思う」と回答した方の割合については、「山林などの自然景観の再生」や「地域の経済」、「まち全体の活気」が、他の項目と比較するとが多い。

### 【回答数】

	良くなると思う/不安はない	あまり不安はない	やや不安に思う	不安に思う	わからない	回答者計	無回答等
田畑などの農地の再生	63	125	51	17	25	281	28
山林などの自然景観の再生	35	93	82	49	23	282	27
まちなみ・住宅地の景観の再生	51	144	58	17	12	282	27
地域の経済	30	105	95	39	13	282	27
まち全体の活気	35	101	111	30	7	284	25
人と人とのつながり	45	147	65	22	7	286	23
ご自身の暮らしむき	40	146	66	31	5	288	21

### 【構成比】

	良くなると思う/不安はない	あまり不安はない	やや不安に思う	不安に思う	わからない	回答者計
田畑などの農地の再生	22.4	44.5	18.1	6.0	8.9	100.0
山林などの自然景観の再生	12.4	33.0	29.1	17.4	8.2	100.0
まちなみ・住宅地の景観の再生	18.1	51.1	20.6	6.0	4.3	100.0
地域の経済	10.6	37.2	33.7	13.8	4.6	100.0
まち全体の活気	12.3	35.6	39.1	10.6	2.5	100.0
人と人とのつながり	15.7	51.4	22.7	7.7	2.4	100.0
ご自身の暮らしむき	13.9	50.7	22.9	10.8	1.7	100.0



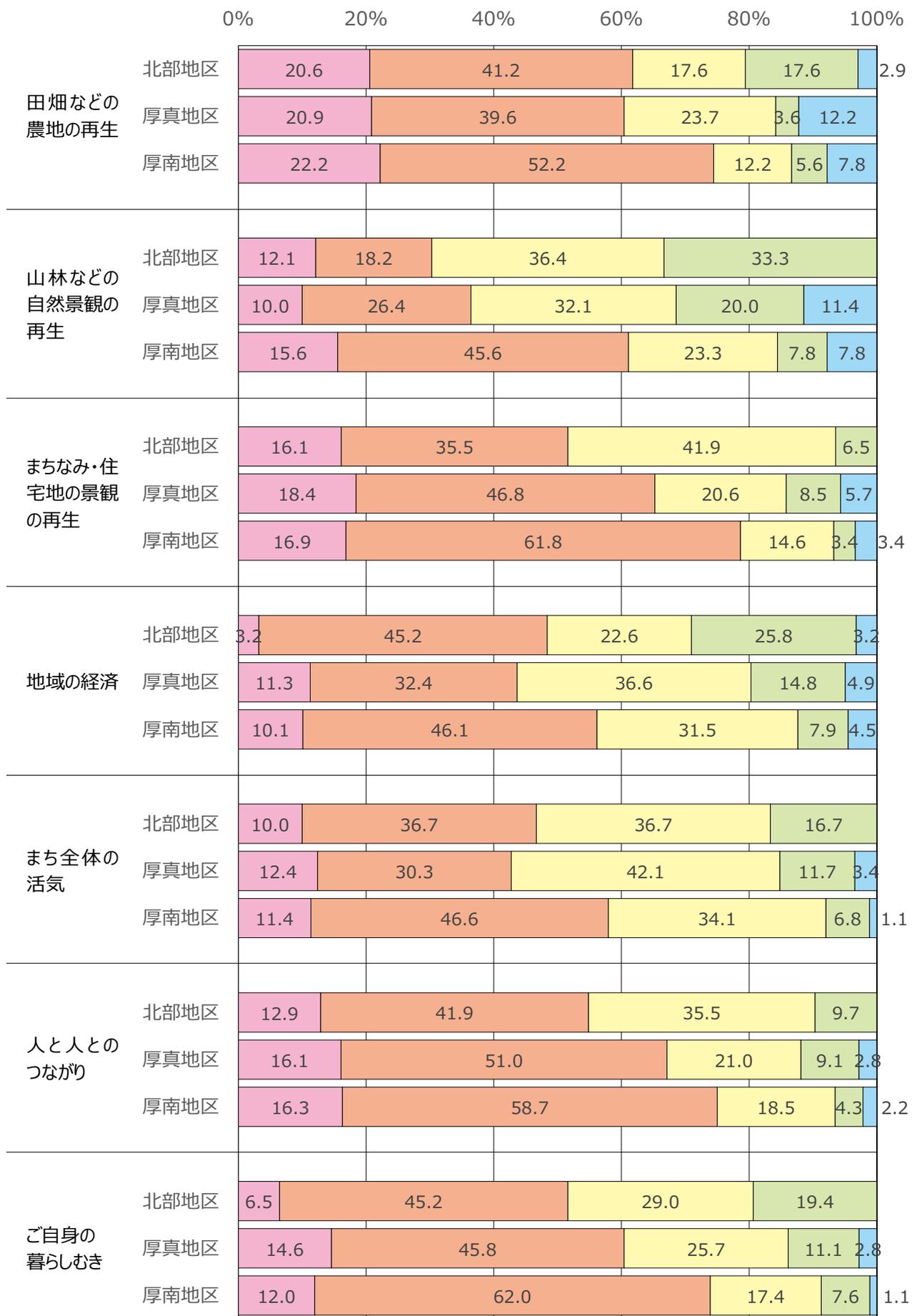
【今後の見通しへの不安×地区】

「良くなると思う/不安はない/あまり不安はない」と回答した方の割合については、

- ・北部地区では、「田畑などの農地の再生」が最も多く、次いで「人と人とのつながり」、「ご自身の暮らしむき」の順に多い。
- ・厚真地区では、「人と人とのつながり」が最も多く、次いで「まちなみ・住宅地の景観の再生」、「田畑などの農地の再生」の順に多い。
- ・厚南地区では、「まちなみ・住宅地の景観の再生」が最も多く、次いで「人と人とのつながり」、「田畑などの農地の再生」の順に多い。

【回答数】

		良くなると思う/不安はない	あまり不安はない	やや不安に思う	不安に思う	わからない	回答者計	無回答等
田畑などの農地の再生	北部地区	7	14	6	6	1	34	5
	厚真地区	29	55	33	5	17	139	12
	厚南地区	20	47	11	5	7	90	6
	無回答	7	9	1	1	0	18	5
山林などの自然景観の再生	北部地区	4	6	12	11	0	33	6
	厚真地区	14	37	45	28	16	140	11
	厚南地区	14	41	21	7	7	90	6
	無回答	3	9	4	3	0	19	4
まちなみ・住宅地の景観の再生	北部地区	5	11	13	2	0	31	8
	厚真地区	26	66	29	12	8	141	10
	厚南地区	15	55	13	3	3	89	7
	無回答	5	12	3	0	1	21	2
地域の経済	北部地区	1	14	7	8	1	31	8
	厚真地区	16	46	52	21	7	142	9
	厚南地区	9	41	28	7	4	89	7
	無回答	4	4	8	3	1	20	3
まち全体の活気	北部地区	3	11	11	5	0	30	9
	厚真地区	18	44	61	17	5	145	6
	厚南地区	10	41	30	6	1	88	8
	無回答	4	5	9	2	1	21	2
人と人とのつながり	北部地区	4	13	11	3	0	31	8
	厚真地区	23	73	30	13	4	143	8
	厚南地区	15	54	17	4	2	92	4
	無回答	3	7	7	2	1	20	3
ご自身の暮らしむき	北部地区	2	14	9	6	0	31	8
	厚真地区	21	66	37	16	4	144	7
	厚南地区	11	57	16	7	1	92	4
	無回答	6	9	4	2	0	21	2



■ 良くなると思う/不安はない
 ■ あまり不安はない
 ■ やや不安に思う
 ■ 不安に思う
 ■ わからない

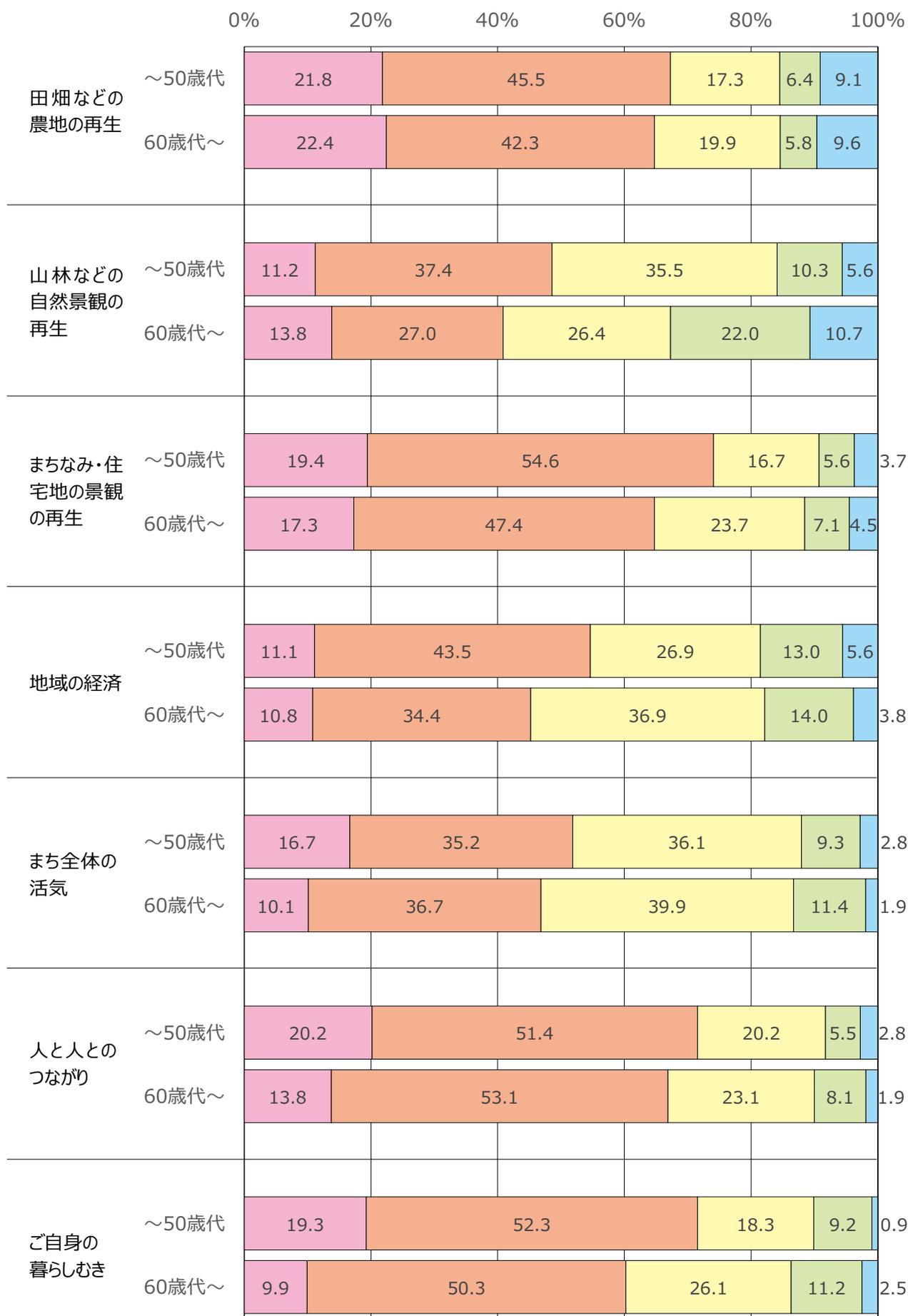
### 【今後の見通しへの不安×年齢】

「良くなると思う/不安はない/あまり不安はない」と回答した方の割合について、年齢別にみると、

- ・～50歳代では、「まちなみ・住宅地の景観の再生」が最も多く、次いで「人と人とのつながり/ご自身の暮らしむき」の順に多い。
- ・60歳代～では、「人と人とのつながり」が最も多く、次いで「田畑などの農地の再生/まちなみ・住宅地の景観の再生」の順に多い。

### 【回答数】

		良くなる と思う/ 不安 はない	あまり不 安はない	やや不安 に思う	不安に思 う	わからない	回答者計	無回答等
田畑など の農地の 再生	～50歳代	24	50	19	7	10	110	1
	60歳代～	35	66	31	9	15	156	22
	無回答	4	9	1	1	0	15	5
山林など の自然景 観の再生	～50歳代	12	40	38	11	6	107	4
	60歳代～	22	43	42	35	17	159	19
	無回答	1	10	2	3	0	16	4
まちなみ・ 住宅地の 景観の再 生	～50歳代	21	59	18	6	4	108	3
	60歳代～	27	74	37	11	7	156	22
	無回答	3	11	3	0	1	18	2
地域の経 済	～50歳代	12	47	29	14	6	108	3
	60歳代～	17	54	58	22	6	157	21
	無回答	1	4	8	3	1	17	3
まち全体 の活気	～50歳代	18	38	39	10	3	108	3
	60歳代～	16	58	63	18	3	158	20
	無回答	1	5	9	2	1	18	2
人と人との つながり	～50歳代	22	56	22	6	3	109	2
	60歳代～	22	85	37	13	3	160	18
	無回答	1	6	6	3	1	17	3
ご自身の 暮らしむき	～50歳代	21	57	20	10	1	109	2
	60歳代～	16	81	42	18	4	161	17
	無回答	3	8	4	3	0	18	2



■ 良くなると思う/不安はない 
 ■ あまり不安はない 
 ■ やや不安に思う 
 ■ 不安に思う 
 ■ わからない

### 3) 現在不安に思っていること (問3,複数回答)

現在不安に思っていることは、「あなた自身の心身の健康状態」が106人と最も多く、次いで「ご家族の心身の健康状態」が93人、「家計の状況」が66人である。

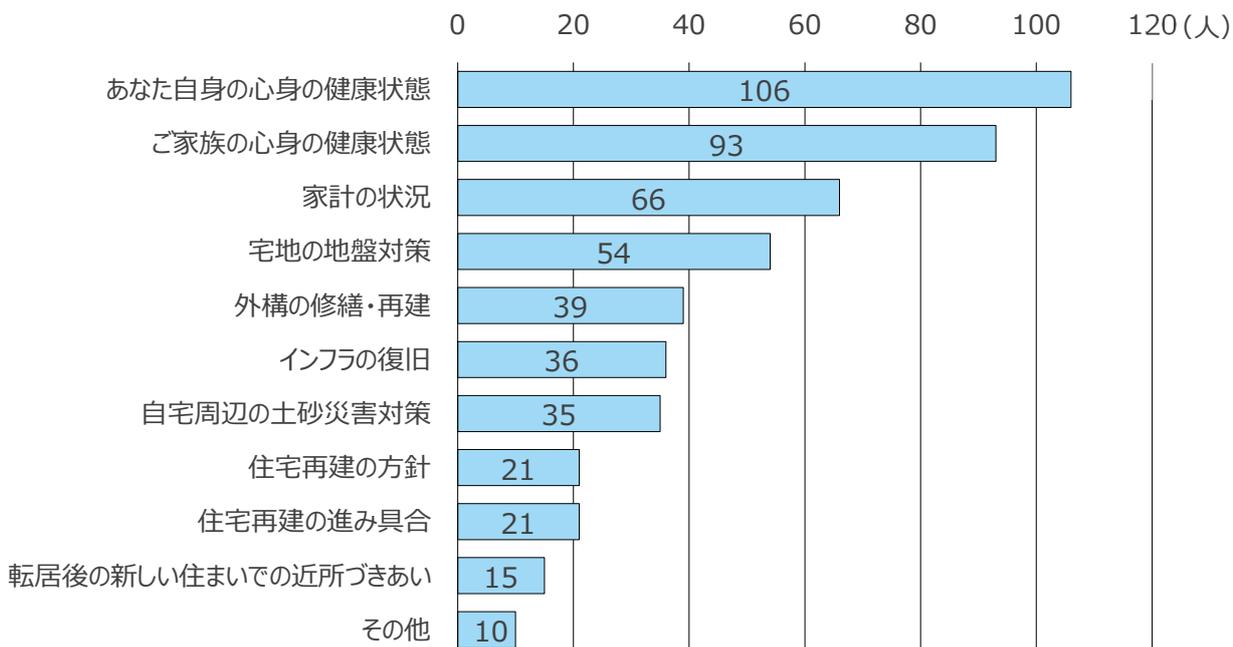
	あなた自身の心身の健康状態	ご家族の心身の健康状態	家計の状況	住宅再建の方針	住宅再建の進み具合	外構の修繕・再建	インフラの復旧
回答数	106	93	66	21	21	39	36
構成比	35.1	30.8	21.9	7.0	7.0	12.9	11.9

	宅地の地盤対策	自宅周辺の土砂災害対策	転居後の新しい住まいでの近所づきあい	その他	特になし	回答数計	無回答
回答数	54	35	15	10	89	302	7
構成比	17.9	11.6	5.0	3.3	29.5	100.0	-

#### (「その他」の内容)

- ・コロナ
- ・ご高齢の町民の方へのケアが不十分
- ・子供が遠距離で生活しているため、建物や敷地の整備が行き届かない
- ・住宅解体費用の助成。受付助成期間が短い
- ・地震とは無関係ですが、害虫、害獣の被害対策
- ・農業者の離農により、空き家が多く見られる。
- ・福祉、医療
- ・墓石の修繕
- ・防災ダム工事による畑への土砂流入で作物の生育に悪影響が出ている。
- ・役場の考え方と住民との乖離



### 【現在、不安に思っていること×地区】

地区別にみると、

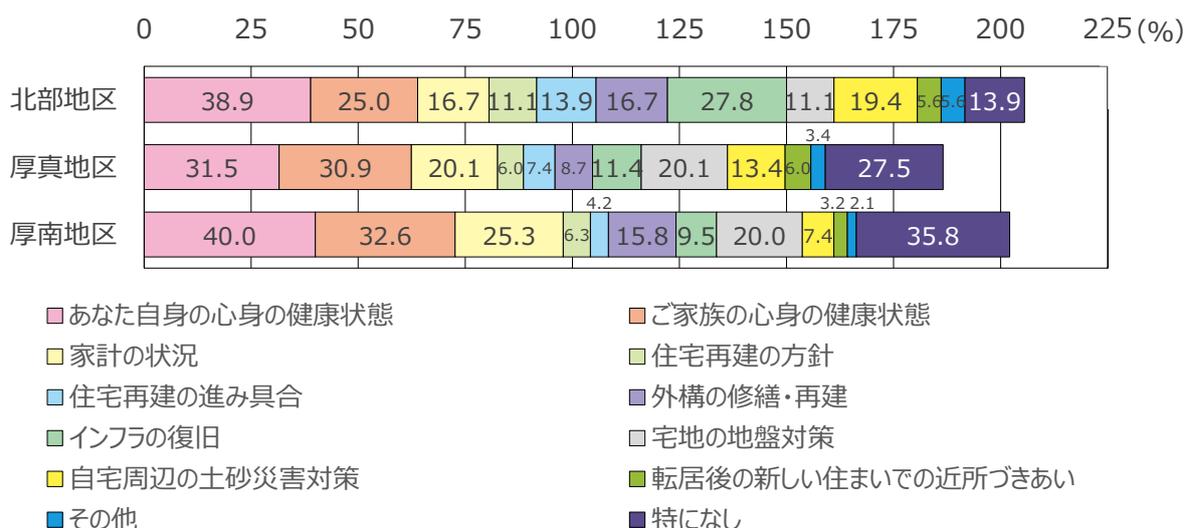
- ・北部地区では、「あなた自身の心身の健康状態」が最も多く、次いで「インフラの復旧」、「ご家族の心身の健康状態」の順に多い。
- ・厚真地区では、「あなた自身の心身の健康状態」が最も多く、次いで「ご家族の心身の健康状態」、「家計の状況/宅地の地盤対策」の順に多い。
- ・厚南地区では、「あなた自身の心身の健康状態」が最も多く、次いで「ご家族の心身の健康状態」、「家計の状況」の順に多い。

### 【回答数】

	あなた自身の心身の健康状態	ご家族の心身の健康状態	家計の状況	住宅再建の方針	住宅再建の進み具合	外構の修繕・再建	インフラの復旧
北部地区	14	9	6	4	5	6	10
厚真地区	47	46	30	9	11	13	17
厚南地区	38	31	24	6	4	15	9
無回答	7	7	6	2	1	5	0

	宅地の地盤対策	自宅周辺の土砂災害対策	転居後の新しい住まいでの近所づきあい	その他	特になし	回答数計	無回答
北部地区	4	7	2	2	5	36	3
厚真地区	30	20	9	5	41	149	2
厚南地区	19	7	3	2	34	95	1
無回答	1	1	1	1	9	22	1



〔現在、不安に思っていること×年齢〕

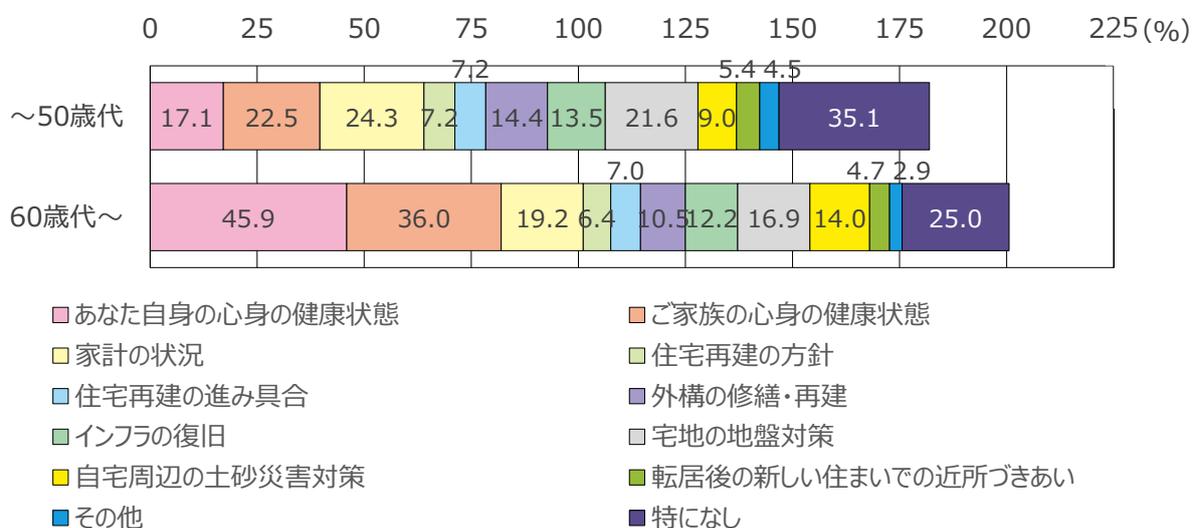
年齢別にみると、

- ・～50歳代では、「家計の状況」が最も多く、次いで「ご家族の心身の健康状態」、「宅地の地盤対策」の順に多い。
- ・60歳代～では、「あなた自身の心身の健康状態」が最も多く、次いで「ご家族の心身の健康状態」、「家計の状況」の順に多い。

【回答数】

	あなた自身の心身の健康状態	ご家族の心身の健康状態	家計の状況	住宅再建の方針	住宅再建の進み具合	外構の修繕・再建	インフラの復旧
～50歳代	19	25	27	8	8	16	15
60歳代～	79	62	33	11	12	18	21
無回答	8	6	6	2	1	5	0

	宅地の地盤対策	自宅周辺の土砂災害対策	転居後の新しい住まいでの近所づきあい	その他	特になし	回答数計	無回答
～50歳代	24	10	6	5	39	111	0
60歳代～	29	24	8	5	43	172	6
無回答	1	1	1	0	7	19	1



## 【現在、不安に思っていること×現在の住まい】

現在の住まい別にみると、

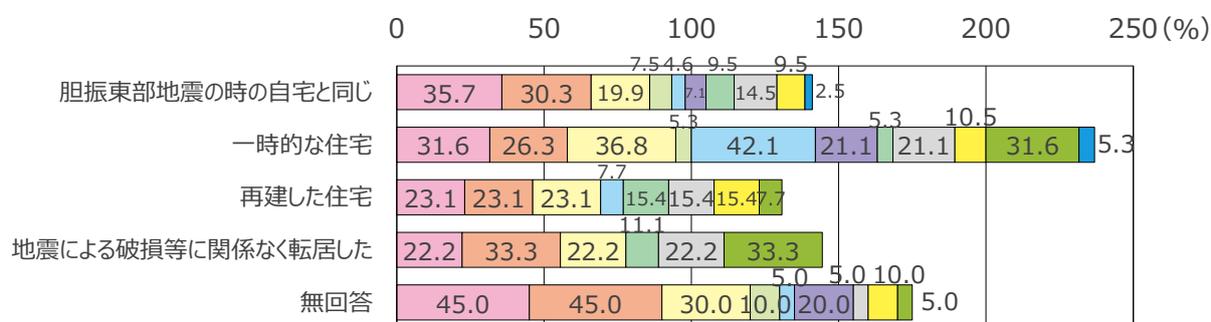
- ・胆振東部地震の時の自宅と同じ方については、「あなた自身の心身の健康状態」が最も多く、次いで「ご家族の心身の健康状態」、「家計の状況」の順に多い。また、中には住宅再建の方針が立っていない方も約7%みられる。
- ・一時的な住宅に居住する方については、「あなた自身の心身の健康状態/ご家族の心身の健康状態/家計の状況」が多い。
- ・再建した住宅に居住する方については、「住宅再建の進み具合」が最も多く、次いで「家計の状況」、「あなた自身の心身の健康状態/転居後の新しい住まいでの近所づきあい」の順に多い。
- ・地震による破損等に関係なく転居した方については、「あなた自身の心身の健康状態/ご家族の心身の健康状態」が最も多く、次いで「家計の状況」の順に多い。

## 【回答数】

	あなた自身の心身の健康状態	ご家族の心身の健康状態	家計の状況	住宅再建の方針	住宅再建の進み具合	外構の修繕・再建	インフラの復旧
胆振東部地震の時の自宅と同じ	86	73	48	18	11	17	23
一時的な住宅	6	5	7	1	8	4	1
再建した住宅	3	3	3	0	1	0	2
地震による破損等に関係なく転居した	2	3	2	0	0	0	1
無回答	9	9	6	2	1	4	0

	宅地の地盤対策	自宅周辺の土砂災害対策	転居後の新しい住まいでの近所づきあい	その他	特になし	回答数計	無回答
胆振東部地震の時の自宅と同じ	35	23	0	6	5	241	4
一時的な住宅	4	2	6	1	0	19	0
再建した住宅	2	2	1	0	0	13	0
地震による破損等に関係なく転居した	2	0	3	0	0	9	1
無回答	1	2	1	0	2	20	2



- あなた自身の心身の健康状態
- ご家族の心身の健康状態
- 家計の状況
- 住宅再建の方針
- 住宅再建の進み具合
- 外構の修繕・再建
- インフラの復旧
- 宅地の地盤対策
- 自宅周辺の土砂災害対策
- 転居後の新しい住まいでの近所づきあい
- その他

#### 4) 復旧・復興に向けて特に期待する取り組み（問4,3つまで回答）

復旧・復興に向けて特に期待する取り組みは、「災害に強いまちづくりに向けた防災・減災への取り組み」が119人と最も多く、次いで「特に被害が大きかった地域・集落の再生と活性化」が108人、「震災に伴う人口減少に対する取り組み」が94人と多い。

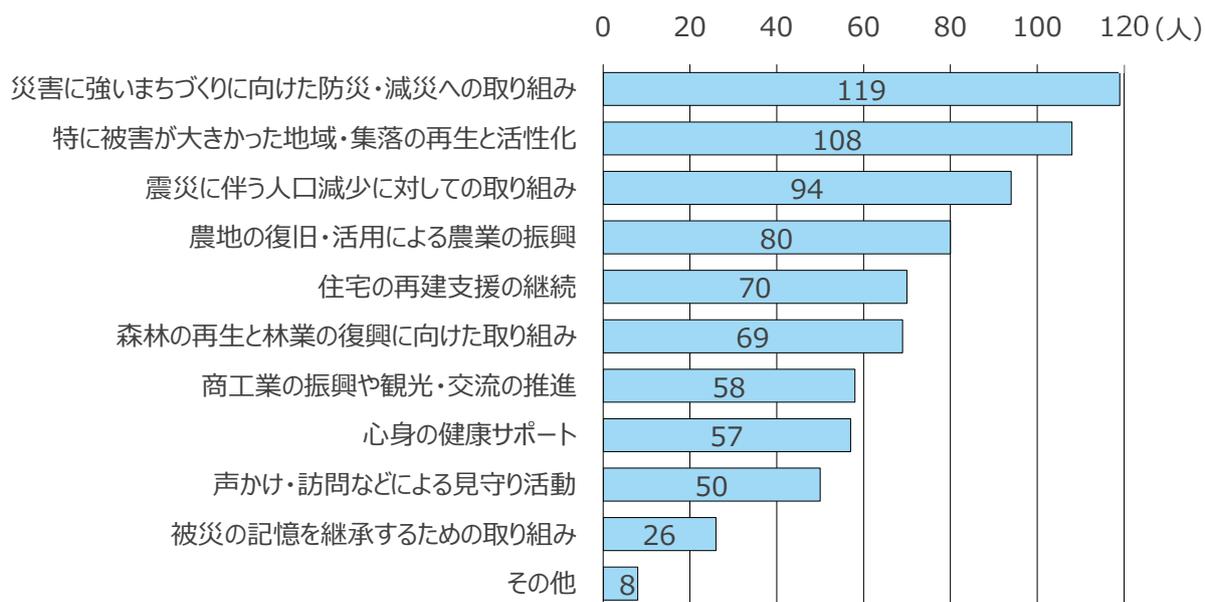
	住宅の再建支援の継続	心身の健康サポート	声かけ・訪問などによる見守り活動	農地の復旧・活用による農業の振興	森林の再生と林業の復興に向けた取り組み	商工業の振興や観光・交流の推進	災害に強いまちづくりに向けた防災・減災への取り組み
回答数	70	57	50	80	69	58	119
構成比	23.9	19.5	17.1	27.3	23.5	19.8	40.6

	被災の記憶を継承するための取り組み	特に被害が大きかった地域・集落の再生と活性化	震災に伴う人口減少に対する取り組み	その他	回答数計	無回答
回答数	26	108	94	8	293	16
構成比	8.9	36.9	32.1	2.7	100.0	-

#### （「その他」の内容）

- ・もう十分
- ・ルーラルビレッジ、フォーラムビレッジの住宅として安全性の担保？
- ・わが家は、特にないので被害が大きかったところをお願いします。
- ・自分で何とかして来たので町に望む事はない。
- ・人間だけではなく全ての生命、自然との共存
- ・被災経験がある町として、他被災地への支援



〔復旧・復興に向けて特に期待する取り組み×地区〕

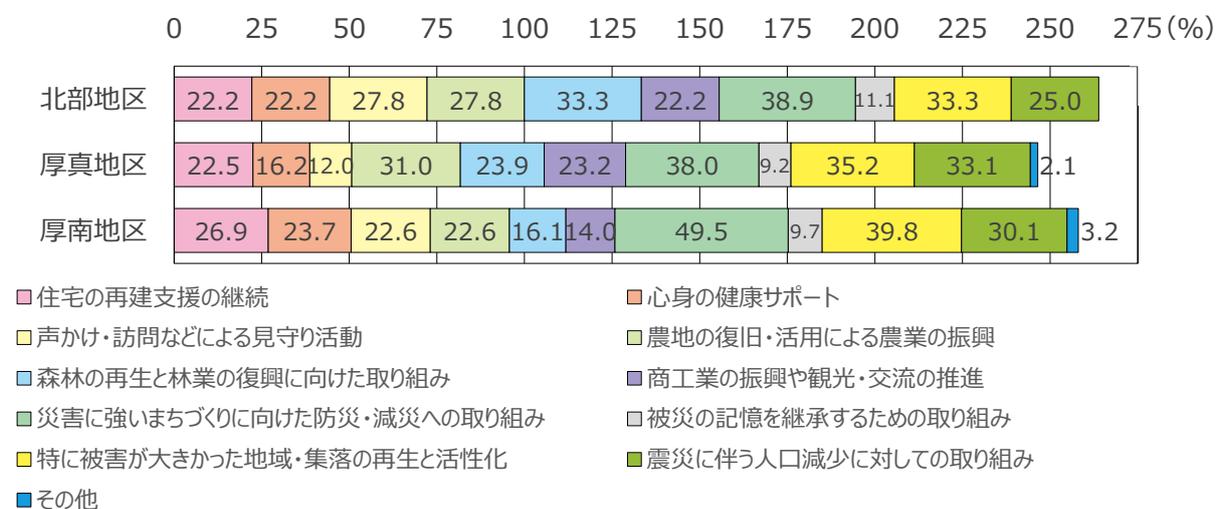
地区別にみると、

- ・北部地区では、「災害に強いまちづくりに向けた防災・減災への取り組み」が最も多く、次いで「森林の再生と林業の復興に向けた取り組み/特に被害が大きかった地域・集落の再生と活性化」の順に多い。
- ・厚真地区では、「災害に強いまちづくりに向けた防災・減災への取り組み」が最も多く、次いで「特に被害が大きかった地域・集落の再生と活性化」、「震災に伴う人口減少に対する取り組み」の順に多い。
- ・厚南地区では、「災害に強いまちづくりに向けた防災・減災への取り組み」が最も多く、次いで「特に被害が大きかった地域・集落の再生と活性化」、「震災に伴う人口減少に対する取り組み」の順に多い。

【回答数】

	住宅の再建支援の継続	心身の健康サポート	声かけ・訪問などによる見守り活動	農地の復旧・活用による農業の振興	森林の再生と林業の復興に向けた取り組み	商工業の振興や観光・交流の推進	災害に強いまちづくりに向けた防災・減災への取り組み
北部地区	8	8	10	10	12	8	14
厚真地区	32	23	17	44	34	33	54
厚南地区	25	22	21	21	15	13	46
無回答	5	4	2	5	8	4	5

	被災の記憶を継承するための取り組み	特に被害が大きかった地域・集落の再生と活性化	震災に伴う人口減少に対する取り組み	その他	回答数計	無回答
北部地区	4	12	9	0	36	3
厚真地区	13	50	47	3	142	9
厚南地区	9	37	28	3	93	3
無回答	0	9	10	2	22	1



### 【復旧・復興に向けて特に期待する取り組み×年齢】

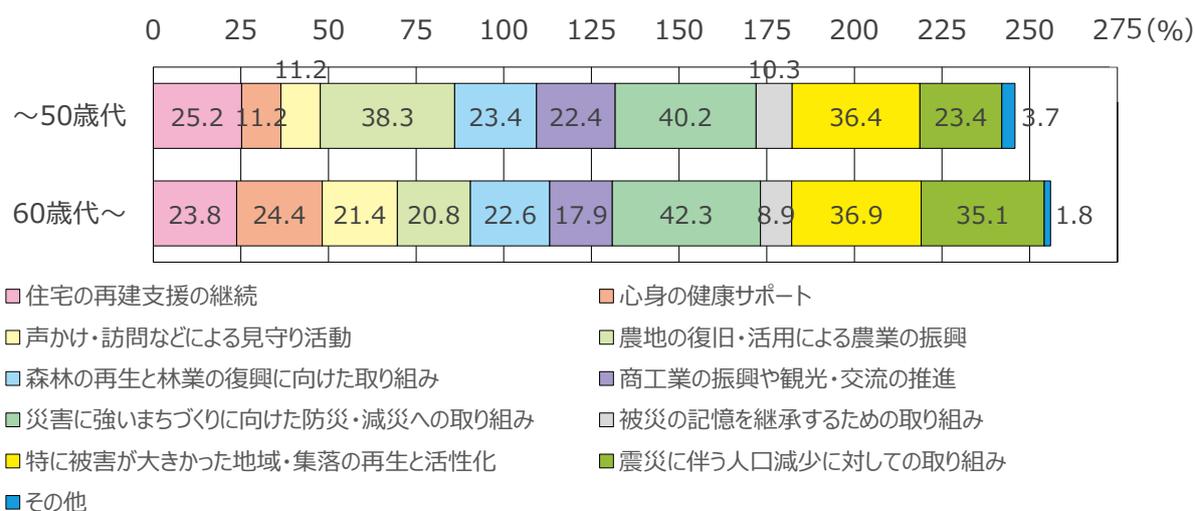
年齢別にみると、

- ・～50歳代では、「災害に強いまちづくりに向けた防災・減災への取り組み」が最も多く、次いで「農地の復旧・活用による農業の振興」、「特に被害が大きかった地域・集落の再生と活性化」の順に多い。
- ・60歳代～では、「災害に強いまちづくりに向けた防災・減災への取り組み」が最も多く、次いで「特に被害が大きかった地域・集落の再生と活性化」、「震災に伴う人口減少に対する取り組み」の順に多い。

### 【回答数】

	住宅の再建支援の継続	心身の健康サポート	声かけ・訪問などによる見守り活動	農地の復旧・活用による農業の振興	森林の再生と林業の復興に向けた取り組み	商工業の振興や観光・交流の推進	災害に強いまちづくりに向けた防災・減災への取り組み
～50歳代	27	12	12	41	25	24	43
60歳代～	40	41	36	35	38	30	71
無回答	3	4	2	4	6	4	5

	被災の記憶を継承するための取り組み	特に被害が大きかった地域・集落の再生と活性化	震災に伴う人口減少に対する取り組み	その他	回答数計	無回答
～50歳代	11	39	25	4	107	4
60歳代～	15	62	59	3	168	10
無回答	0	7	10	1	18	2



5) 復旧・復興に向けて不安に思うことや必要だと思うこと（問5,自由記述）

<p>・〈問4の9について〉どのような形で構築し、人が繋がっていくかが大事だと思います。</p>
<p>・トラック等が通過するたびに家が振動するため、表町西通り前の道路を整備して欲しい。          ・水害に遭った時、近所に高い建物が見当たらない場合、どこに避難したら良いのか迷う。</p>
<p>・納屋（全壊）の解体費用の補助金の増額と給付対象期間の延長          ・傾聴ボランティアなど、独居者への支援</p>
<p>・①②の町全体の活気について          現在震災の復旧工事に伴う、人、車両の往来が多く、町全体活気がある様に思われるが、1年、2年先、工事終了時点で於ける、人、車両の往来が無くなった時、街中がさみしかを感じるのではないかと思う。</p>
<p>・インターネット環境が悪い。早く光回線が来てほしい。</p>
<p>・この道路は通学中の子どもは危険です。特に冬の雪道。※アンケート用紙に地図あり</p>
<p>・ご高齢、全壊ではない、仮設には入居していない方等、すべてに当てはまる方をサポートしてもらいたい。高齢であること、半壊等の認定により思ったよりも支援が受けられなくて、さみしかったり困ったりしている方が多すぎる。正直、仮設入居者は十分すぎるほど支援してもらっているのに、それ以外のところで、さみしい思い、不安な思いをされているお年寄りがたくさんいることに、こちらも不安を感じる。</p>
<p>・トイレウォシュレットにして欲しい 上厚真新団地</p>
<p>・吉野地区の住宅が荒廃しないか心配</p>
<p>・公共の移動手段が整備されていないため、独居や高齢者夫婦などが十分な医療を受けられない事。交流の場にも参加できず、孤立してしまう事。いざ、災害が起きて避難所までの移動ができない。          自分が高齢になって運転免許を返納した時の生活不安。今の高齢者も同じ思いをしていると思う。それに対し、地域での助け合い体制も、政府の支援体制も無いことが不安。</p>
<p>・今は復旧復興に向けて、国からの予算があり多くの企業が厚真町に集結していて、何か厚真町が活気がある町に見えるが、ほんとうに元の自然豊かな街に戻るのか心配している。          私は加齢による衰えもあり、運転免許の返納を考えているため、公共交通等の充実をスピード感をもって、検討して欲しい。</p>
<p>・災害時、迅速に動けるように正しい知識や情報を全員が理解していけるような環境作りをお願いします。</p>
<p>・住んでいる土地、自宅があまり影響がなかったので、特に無いが、他地域の事を思ったならば、それぞれの復旧を望みます。</p>
<p>・住宅再建等の補助金申請等の（プレハブ）受付（窓口）に年配者だけをおくことをやめて欲しい。人手が不足しているのは分かりますが、話が進まず、時間がかかり、コロナのこともあるので、行くことに抵抗があります。役場の担当の方が1人でもいて欲しいです。</p>
<p>・住宅全棟ではない人たち（半壊等）への支援 半壊で、直す資金が出せないなど・・・</p>
<p>・震災の復旧・復興だけでなく、その他の自然災害（特に集中豪雨など）に対応できる防災・減災の取り組みが必要ではないか。          森林伐採作業など必要以上に山の地形を崩壊させる行為などの法整備が必要ではないか。          復旧・復興だけにとらわれることなく、今までの取り組みを忘れないよう進めて頂きたい。</p>
<p>・震災の問題なのか、日本の田舎町の問題なのか、いろいろ難しいですね。</p>
<p>・震災後、外国の方が増えたように思う。この地域は安全なのか？不安を最小限に生活できる場所はあるのか？</p>
<p>・先日、幌内地区で実施されたおしゃべり会のような催しに、大勢が集まり、お互いの近況報告が出来て、皆さんそれぞれが元気を頂いて楽しい時間を過ごせたように思います。定期的にお互いの健康確認のためにも良い事だと感じました。</p>
<p>・全てを被災前と同じ様にと考える事は無理だとすると、優先順位を考え、何を取り何を捨てるか見極め、新しい厚真町を造っていく必要があると思う。</p>
<p>・地域の活性化のために、新規就農者の更なる対策が必要と思われる。そのことが空き家対策にもつながるのでは？</p>

(前頁の続き)

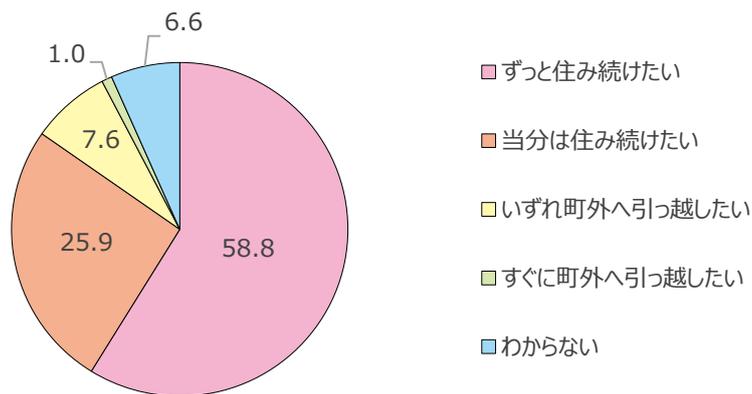
・地域の防災対策
・地震被災後の生活で一番困ったのは「水」です。断水はトイレ、お風呂、飲み水、食事などすべてができなくなります。そして、水は重くて給水場から持ち帰るのが大変で、しかも、すぐになくなってしまいます。災害時も、断水しない様に浄水場の施設を強化し、給水タンク、給水車等を確保して欲しい。
・土砂災害が起きた現場だけではなく、起きる可能性のある場所での砂防ダム計画を進めて欲しい。
・地盤沈下のため、家が傾いているが、費用がかかりすぎて直せない。(半壊のため、自己費用が200～300万円かかる)
・町のいっていることの実行性に強く不安を持つ。 例⇒導水管復旧後の百年公園などの回復、ルーラル地区の耐震工事とその後
・町もそうですが、自分の住んでいる家の周りも地盤沈下が進んでいます。また大きな地震が来ると、とても心配です。
・町内以下関係の皆さんは、頑張っておられると思います。今後もよろしくお願い致します。
・田舎の住みよさを売りにするなら、環境、交通の便を考えよう。
・東和は、若者が増えず過疎化しています。自治会活動の維持が難しく、近い将来他の部落との合併が必要と思います。将来のビジョンを示して、合併の条件のすり合わせを始める時期が来ていると思います。
・日本中で災害が多発する昨今、厚真に使うお金を他の被災地に回すべきでは。山など直している場合ではないと思う。
・復旧・復興に対して、人任せな人が多い気がします。このままでは、いつまで経っても復興はしないと思うので、1人1人の意識を変えるのが先かと思います。
・復旧・復興に対するお金で、産業は徐々にではあるが、回復してゆくとします。北海道で初めて震度7を経験し、そのことを後世に残すべき「震災遺構伝承館」はどうだろうか。今、全国的にも記憶にない災害が多い。
・復旧後の道路整備を早く。特に北部地区
・町自体の発展に際しては集落再生は特に考えて行くべきと考えます。住まいが点在して居ることを考える。何かにつけ短所、長所ありますが集約して行く事で長所が生れることも考えて行くべきだと思う。
・家を建てた業者に調べてもらったところ、やや傾いている(2～3cm)とのことだが、元にもどす資金がないので、このまま暮らしていくしかない。傾きが体調等に影響を及ぼさないかが心配。また現在も家に変化が続いているので今後どうなるかも心配。

### (3) まちづくり全般について

#### 1) 今後の厚真町での居留意向（問6,単回答）

今後の厚真町での居留意向は、「ずっと住み続けたい/当分は住み続けたい」と回答した方が約85%と多く、「いずれ町外へ引っ越したい/すぐに町外に引っ越したい」と回答した方が約9%である。

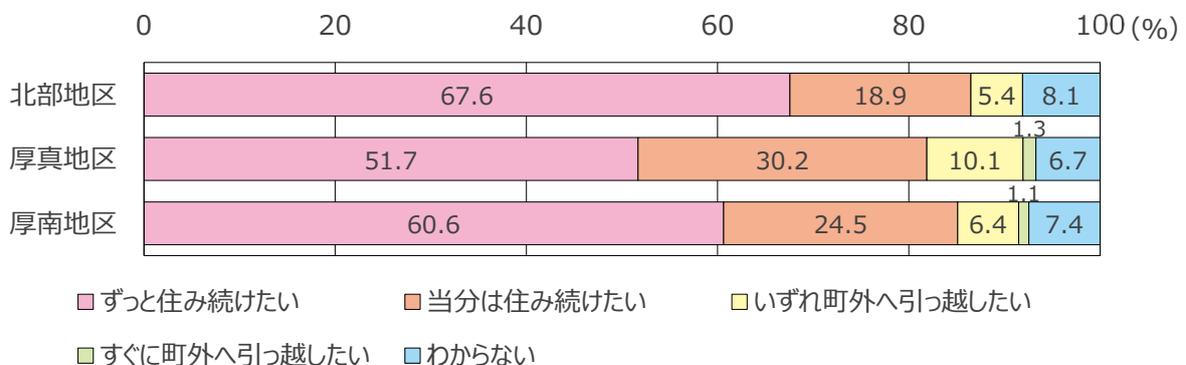
	ずっと住み続けたい	当分は住み続けたい	いずれ町外へ引っ越したい	すぐに町外へ引っ越したい	わからない	回答者計	無回答
回答数	177	78	23	3	20	301	8
構成比	58.8	25.9	7.6	1.0	6.6	100.0	-



#### 【今後の厚真町での居留意向×地区】

地区別にみると、「ずっと住み続けたい/当分は住み続けたい」と回答した方は、北部地区で約87%、厚真地区で約82%、厚南地区で約85%と全ての地区で多い。

	ずっと住み続けたい	当分は住み続けたい	いずれ町外へ引っ越したい	すぐに町外へ引っ越したい	わからない	回答者計	無回答
北部地区	25	7	2	0	3	37	2
厚真地区	77	45	15	2	10	149	2
厚南地区	57	23	6	1	7	94	2
無回答	18	3	0	0	0	21	2

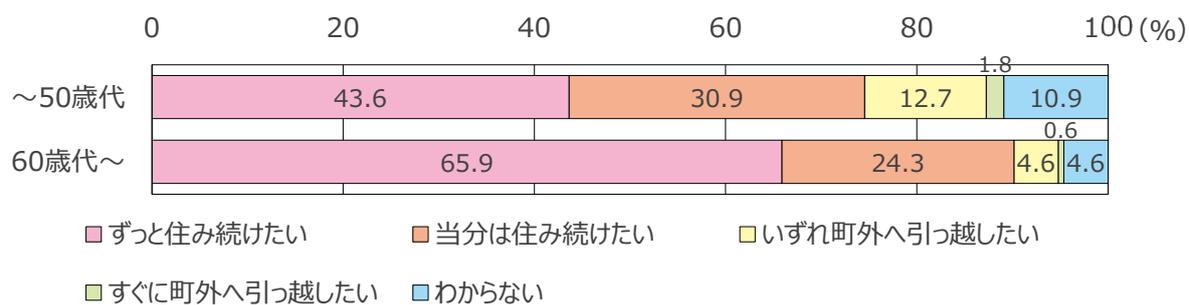


〔今後の厚真町での居留意向×年齢〕

年齢別にみると、「ずっと住み続けたい/当分は住み続けたい」と回答した方は、～50歳代で約75%、60歳代～で約90%であり、特に60歳代～の居留意向が強い。

【回答数】

	ずっと住み続けたい	当分は住み続けたい	いずれ町外へ引っ越したい	すぐに町外へ引っ越したい	わからない	回答者計	無回答
～50歳代	48	34	14	2	12	110	1
60歳代～	114	42	8	1	8	173	5
無回答	15	2	1	0	0	18	2



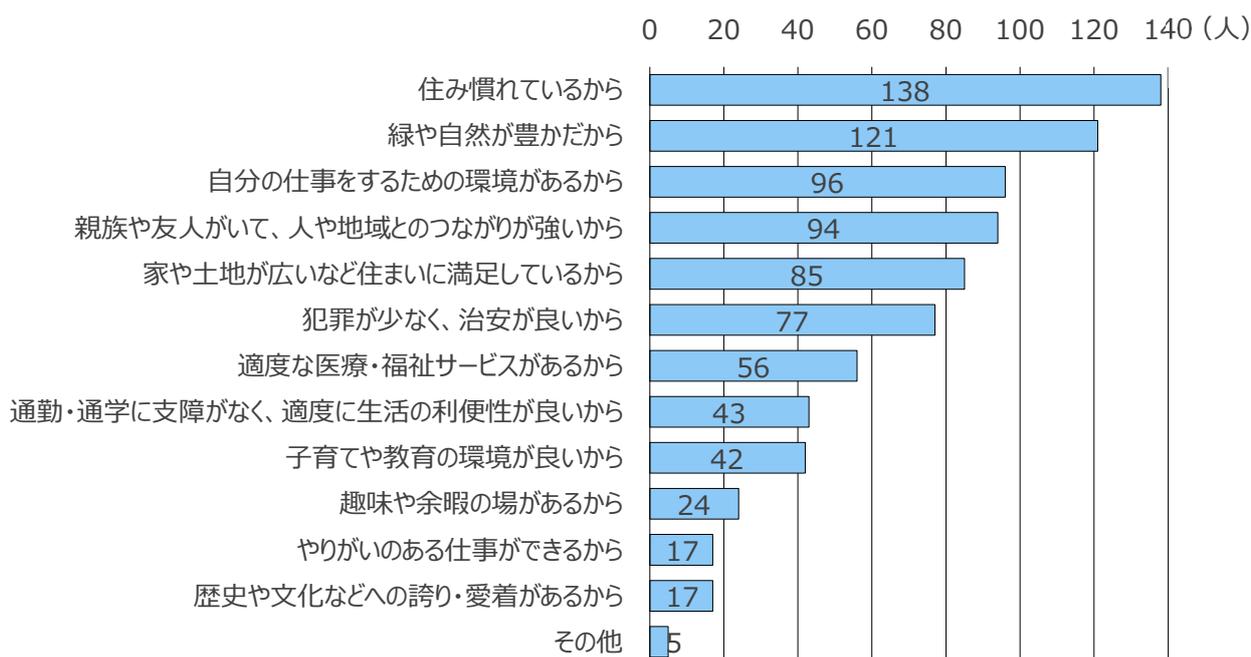
## 2) 住み続けたい理由 (問7,複数回答)

問6で「ずっと住み続けたい/当分は住み続けたい」と回答した方の理由は、「住み慣れているから」が138人と最も多く、次いで「緑や自然が豊かだから」が121人、「自分の仕事をするための環境があるから」が96人と多い。

	子育てや教育の環境が良いから	通勤・通学に支障がなく、適度に生活の利便性が良いから	適度な医療・福祉サービスがあるから	趣味や余暇の場があるから	自分の仕事をするための環境があるから	やりがいのある仕事ができるから	緑や自然が豊かだから	犯罪が少なく、治安が良いから
回答数	42	43	56	24	96	17	121	77
構成比	16.5	16.9	22.0	9.4	37.6	6.7	47.5	30.2
	歴史や文化などへの誇り・愛着があるから	家や土地が広いなど住まいに満足しているから	親族や友人がいて、人や地域とのつながりが強いから	住み慣れているから	その他	回答数計	無回答	
回答数	17	85	94	138	5	255	2	
構成比	6.7	33.3	36.9	54.1	2.0	100.0	-	

### (「その他」の内容)

- ・家を建ててしまったから
- ・結婚して農家に嫁いだので仕方がないから
- ・札幌、空港へのアクセスが良い(車がある前提で)
- ・住居があるから
- ・正直に言えば、災害は怖く、引越したい気持ちもありますが、ローンがあるので。
- ・生まれ育った故郷だから



## 〔住み続けたい理由×地区〕

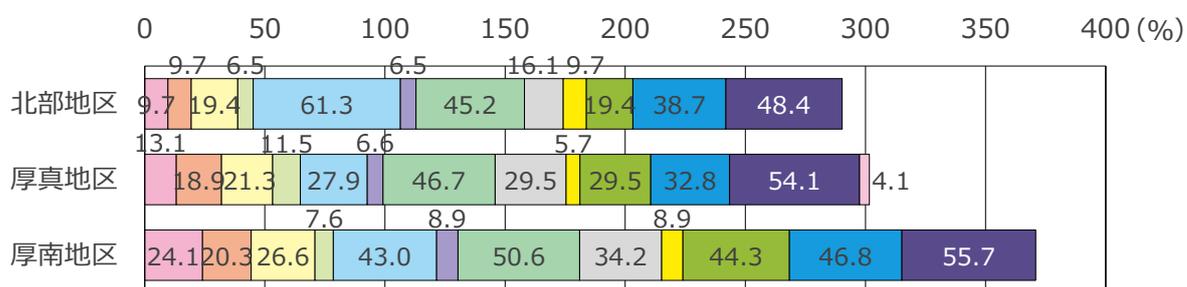
地区別にみると、

- ・北部地区では、「自分の仕事をするための環境があるから」が最も多く、次いで「住み慣れているから」、「緑や自然が豊かだから」の順に多い。
- ・厚真地区では、「住み慣れているから」が最も多く、次いで「緑や自然が豊かだから」、「親族や友人がいて、人や地域とのつながりが強いから」の順に多い。
- ・厚南地区では、「住み慣れているから」が最も多く、次いで「緑や自然が豊かだから」、「親族や友人がいて、人や地域とのつながりが強いから」の順に多い。
- ・また、北部地区では「自分の仕事をするための環境があるから」が、厚南地区では「家や土地が広いなど住まいに満足しているから」がその他の地区に比べて多い。

## 【回答数】

	子育てや教育の環境が良いから	通勤・通学に支障がなく、適度に生活の利便性が良いから	適度な医療・福祉サービスがあるから	趣味や余暇の場があるから	自分の仕事をするための環境があるから	やりがいのある仕事ができるから	緑や自然が豊かだから	犯罪が少なく、治安が良いから
北部地区	3	3	6	2	19	2	14	5
厚真地区	16	23	26	14	34	8	57	36
厚南地区	19	16	21	6	34	7	40	27
無回答	4	1	3	2	9	0	10	9

	歴史や文化などへの誇り・愛着があるから	家や土地が広いなど住まいに満足しているから	親族や友人がいて、人や地域とのつながりが強いから	住み慣れているから	その他	回答数計	無回答
北部地区	3	6	12	15	0	31	1
厚真地区	7	36	40	66	5	122	0
厚南地区	7	35	37	44	0	79	1
無回答	0	8	5	13	0	21	0



- 子育てや教育の環境が良いから
- 通勤・通学に支障がなく、適度に生活の利便性が良いから
- 適度な医療・福祉サービスがあるから
- 趣味や余暇の場があるから
- 自分の仕事をするための環境があるから
- やりがいのある仕事ができるから
- 緑や自然が豊かだから
- 犯罪が少なく、治安が良いから
- 歴史や文化などへの誇り・愛着があるから
- 家や土地が広いなど住まいに満足しているから
- 親族や友人がいて、人や地域とのつながりが強いから
- 住み慣れているから
- その他

## 〔住み続けたい理由×年齢〕

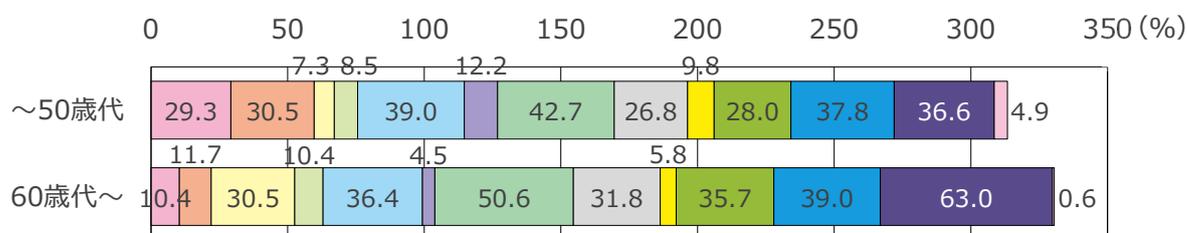
年齢別にみると、

- ・～50歳代では、「緑や自然が豊かだから」が最も多く、次いで「自分の仕事をするための環境があるから」、「親族や友人がいて、人や地域とのつながりが強いから」の順に多い。
- ・60歳代～では、「住み慣れているから」が最も多く、次いで「緑や自然が豊かだから」、「親族や友人がいて、人や地域とのつながりが強いから」の順に多い。

## 【回答数】

	子育てや教育の環境が良いから	通勤・通学に支障がなく、適度に生活の利便性が良いから	適度な医療・福祉サービスがあるから	趣味や余暇の場があるから	自分の仕事をするための環境があるから	やりがいのある仕事ができるから	緑や自然が豊かだから	犯罪が少なく、治安が良いから
～50歳代	24	25	6	7	32	10	35	22
60歳代～	16	18	47	16	56	7	78	49
無回答	2	0	3	1	8	0	8	6

	歴史や文化などへの誇り・愛着があるから	家や土地が広いなど住まいに満足しているから	親族や友人がいて、人や地域とのつながりが強いから	住み慣れているから	その他	回答数計	無回答
～50歳代	8	23	31	30	4	82	0
60歳代～	9	55	60	97	1	154	2
無回答	0	7	3	11	0	17	0



- 子育てや教育の環境が良いから
- 通勤・通学に支障がなく、適度に生活の利便性が良いから
- 適度な医療・福祉サービスがあるから
- 趣味や余暇の場があるから
- 自分の仕事をするための環境があるから
- やりがいのある仕事ができるから
- 緑や自然が豊かだから
- 歴史や文化などへの誇り・愛着があるから
- 親族や友人がいて、人や地域とのつながりが強いから
- 家や土地が広いなど住まいに満足しているから
- 住み慣れているから
- その他

### 3) 町外へ引っ越したい理由 (問8,複数回答)

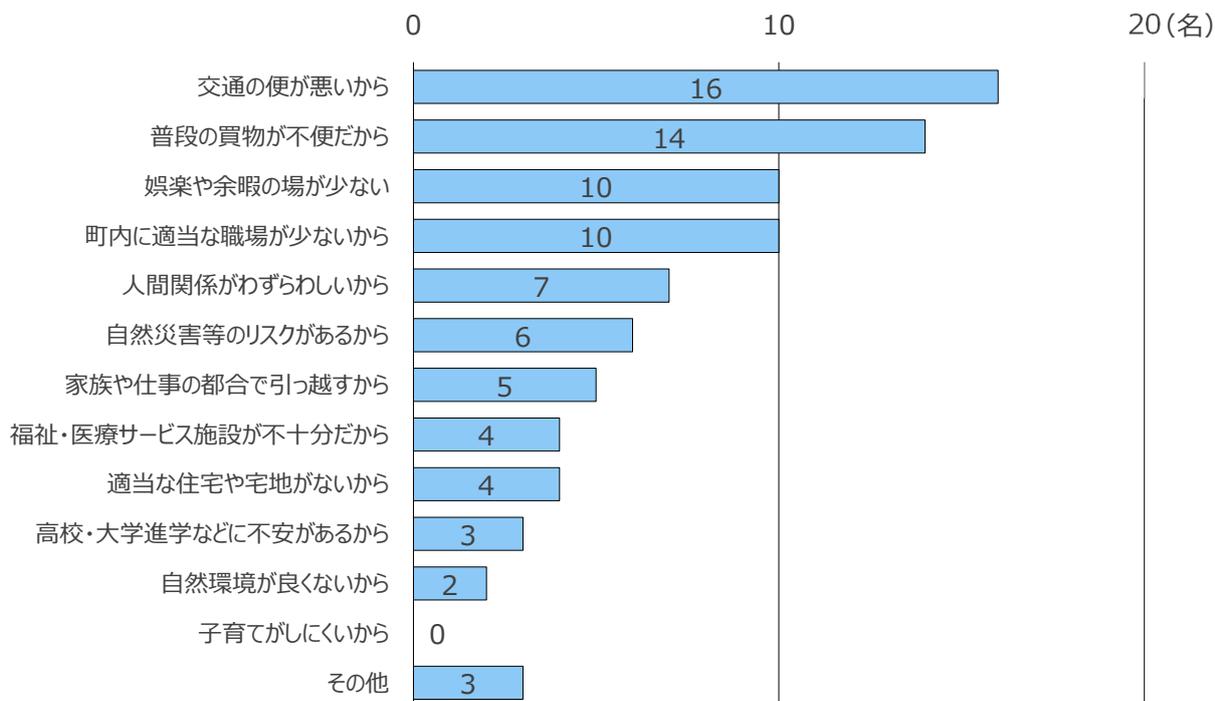
問6で「いずれ町外へ引っ越したい/すぐに町外へ引っ越したい」と回答した方の理由は、「交通の便が悪いから」が16人と最も多く、次いで「普段の買物が不便だから」が14人、「娯楽や余暇の場が少ない/町内に適当な職場が少ないから」が10人と多い。

	子育てがしにくいから	交通の便が悪いから	福祉・医療サービス施設が不十分だから	娯楽や余暇の場が少ない	町内に適当な職場が少ないから	高校・大学進学などに不安があるから	自然環境が良くないから	自然災害等のリスクがあるから
回答数	0	16	4	10	10	3	2	6
構成比	0.0	61.5	15.4	38.5	38.5	11.5	7.7	23.1

	普段の買物が不便だから	適当な住宅や宅地がないから	人間関係がわずらわしいから	家族や仕事の都合で引っ越すから	その他	回答数計	無回答
回答数	14	4	7	5	3	26	0
構成比	53.8	15.4	26.9	19.2	11.5	100.0	-

#### (「その他」の内容)

- ・もう十分
- ・ルーラルビレッジ、フォーラムビレッジの住宅として安全性の担保？
- ・わが家は、特にないので被害が大きかったところをお願いします。
- ・自分で何とかして来たので町に望む事はない。
- ・人間だけではなく全ての生命、自然との共存
- ・被災経験がある町として、他被災地への支援



### 〔町外へ引っ越したい理由×地区〕

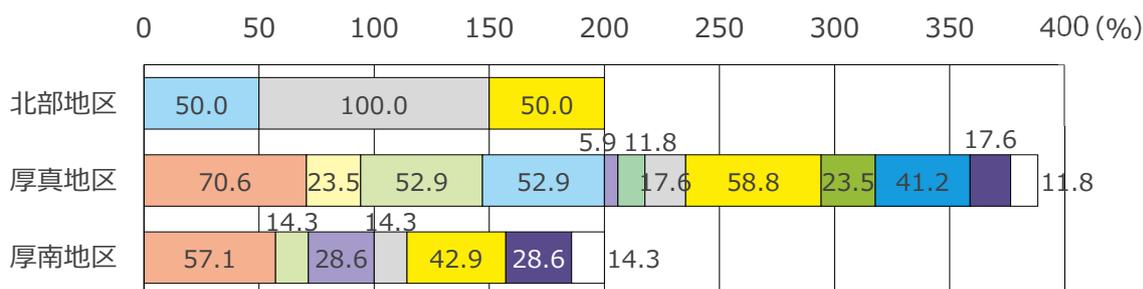
地区別にみると、

- ・北部地区では、「自然災害等のリスクがあるから」が最も多く、次いで「交通の便が悪いから/町内に適当な職場が少ないから」の順に多い。
- ・厚真地区では、「交通の便が悪いから」が最も多く、次いで「普段の買物が不便だから」、「娯楽や余暇の場が少ない/町内に適当な職場が少ないから」の順に多い。
- ・厚南地区では、「交通の便が悪いから」が最も多く、次いで「普段の買物が不便だから」、「高校・大学進学などに不安があるから/家族や仕事の都合で引っ越すから」の順に多い。

### 【回答数】

	子育てがしにくいから	交通の便が悪いから	福祉・医療サービス施設が不十分だから	娯楽や余暇の場が少ない	町内に適当な職場が少ないから	高校・大学進学などに不安があるから	自然環境が良くないから	自然災害等のリスクがあるから
北部地区	0	1	0	0	1	0	0	2
厚真地区	0	12	5	9	9	1	2	3
厚南地区	0	7	2	2	0	3	0	1
無回答	0	2	0	0	0	0	0	0

	普段の買物が不便だから	適当な住宅や宅地がないから	人間関係がわずらわしいから	家族や仕事の都合で引っ越すから	その他	回答数計	無回答
北部地区	1	0	0	0	0	2	0
厚真地区	10	4	7	3	2	17	0
厚南地区	7	0	0	2	1	7	0
無回答	2	0	0	0	0	0	0



- 子育てがしにくいから
- 交通の便が悪いから
- 福祉・医療サービス施設が不十分だから
- 娯楽や余暇の場が少ない
- 町内に適当な職場が少ないから
- 高校・大学進学などに不安があるから
- 自然環境が良くないから
- 自然災害等のリスクがあるから
- 普段の買物が不便だから
- 適当な住宅や宅地がないから
- 人間関係がわずらわしいから
- 家族や仕事の都合で引っ越すから
- その他

### 〔町外へ引っ越したい理由×年齢〕

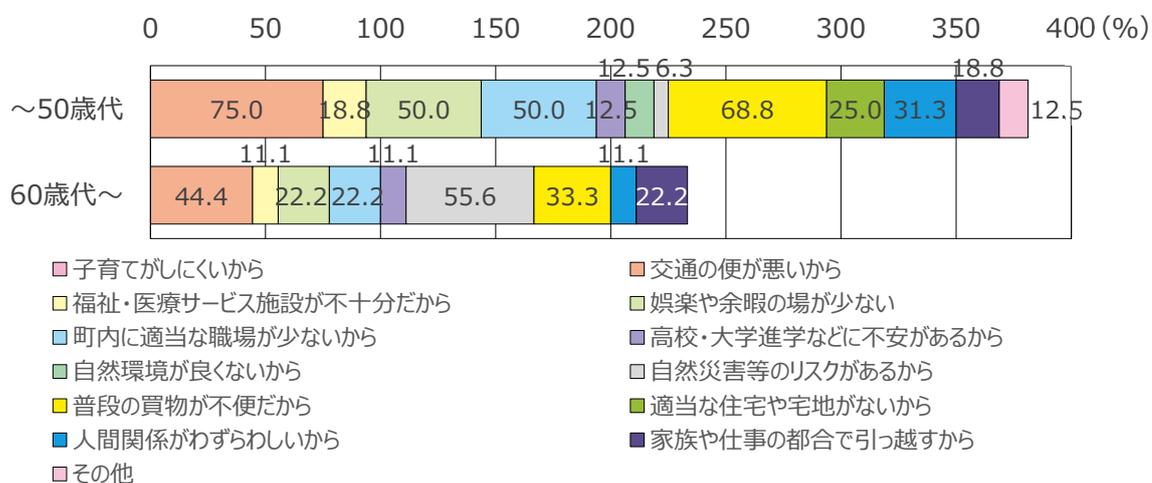
年齢別にみると、

- ・～50歳代では、「交通の便が悪いから」が最も多く、次いで「普段の買物が不便だから」、「娯楽や余暇の場が少ない/町内に適当な職場が少ないから」の順に多い。
- ・60歳代～では、「自然災害等のリスクがあるから」が最も多く、次いで「交通の便が悪いから」、「普段の買物が不便だから」の順に多い。

### 【回答数】

	子育てがしにくいから	交通の便が悪いから	福祉・医療サービス施設が不十分だから	娯楽や余暇の場が少ない	町内に適当な職場が少ないから	高校・大学進学などに不安があるから	自然環境が良くないから	自然災害等のリスクがあるから
～50歳代	0	12	3	8	8	2	2	1
60歳代～	0	4	1	2	2	1	0	5
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0

	普段の買物が不便だから	適当な住宅や宅地がないから	人間関係がわずらわしいから	家族や仕事の都合で引っ越すから	その他	回答数計	無回答
～50歳代	11	4	5	3	2	16	0
60歳代～	3	0	1	2	0	9	0
無回答	0	0	1	0	1	1	0



#### 4) 自分の住んでいる地区の活動に対する感じ方 (問9,単回答)

自分の住んでいる地区の活動に対して「そう思う/ややそう思う」と回答した方の割合については、「災害が起こってもみんなで助け合える」が約80%と最も多く、次いで「環境美化活動に熱心である」が約63%、「困っている人を助ける仕組みができていいる」が約44%と多い。

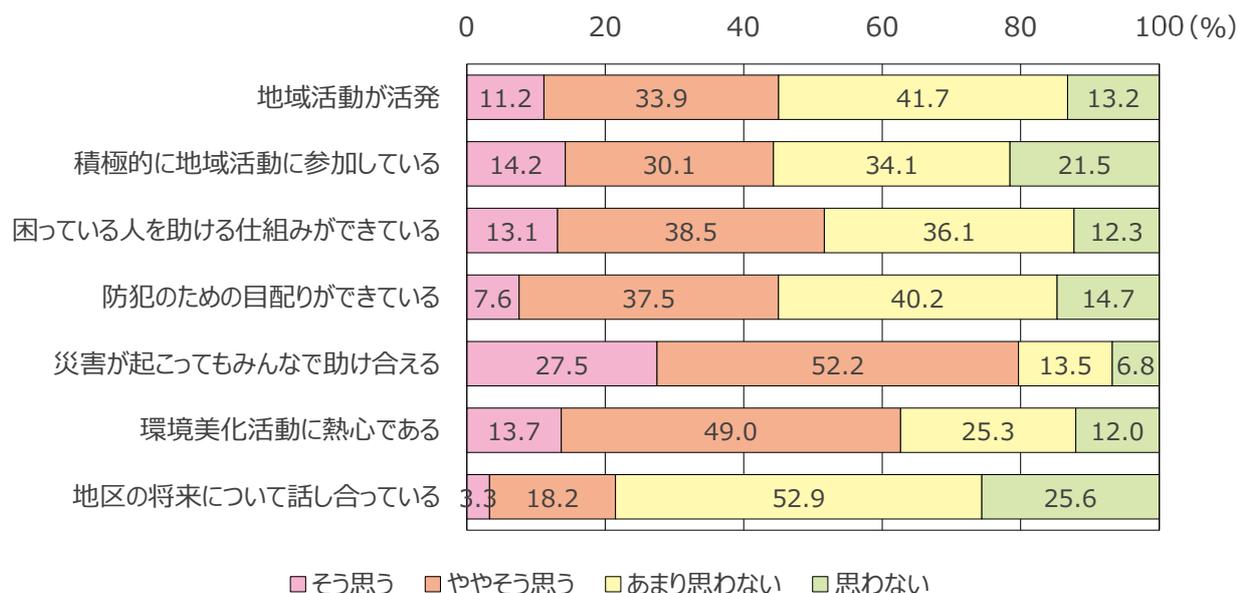
一方で、「将来の地域について話し合っている」については、「思わない/あまり思わない」と回答した方が約79%と多い。

##### 【回答数】

	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない	回答者計	無回答
地域活動が活発	27	82	101	32	242	67
積極的に地域活動に参加している	35	74	84	53	246	63
困っている人を助ける仕組みができていいる	32	94	88	30	244	65
防犯のための目配りができていいる	19	94	101	37	251	58
災害が起こってもみんなで助け合える	69	131	34	17	251	58
環境美化活動に熱心である	34	122	63	30	249	60
地区の将来について話し合っている	8	44	128	62	242	67

##### 【構成比】

	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない	回答者計
地域活動が活発	11.2	33.9	41.7	13.2	100.0
積極的に地域活動に参加している	14.2	30.1	34.1	21.5	100.0
困っている人を助ける仕組みができていいる	13.1	38.5	36.1	12.3	100.0
防犯のための目配りができていいる	7.6	37.5	40.2	14.7	100.0
災害が起こってもみんなで助け合える	27.5	52.2	13.5	6.8	100.0
環境美化活動に熱心である	13.7	49.0	25.3	12.0	100.0
地区の将来について話し合っている	3.3	18.2	52.9	25.6	100.0



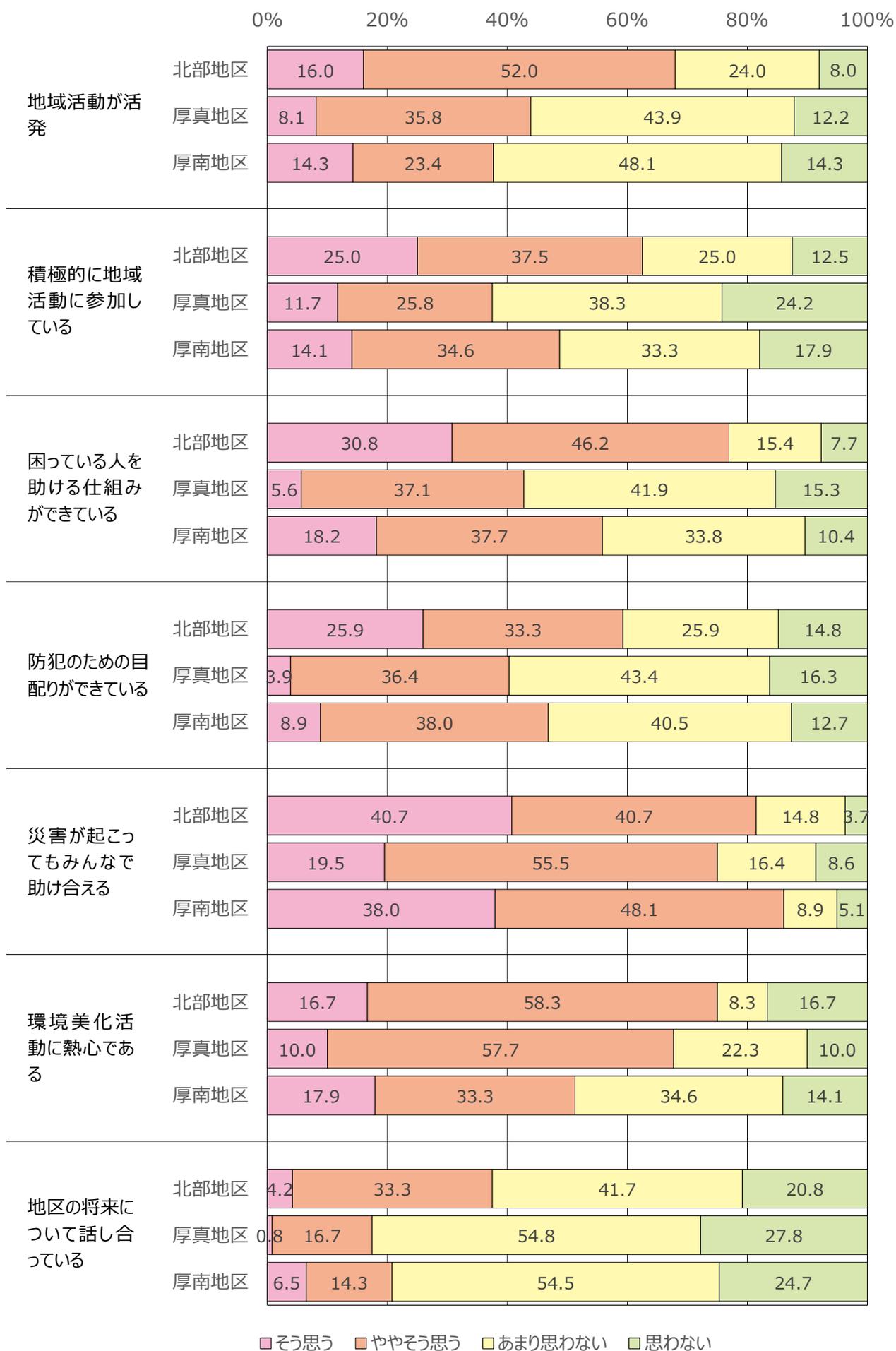
### 【自分の住んでいる地区の活動に対する感じ方×地区】

「そう思う/ややそう思う」と回答した方の割合について、地区別にみると、

- ・北部地区では、「災害が起こってもみんなで助け合える」が最も多く、次いで「困っている人を助ける仕組みができて」、「環境美化活動に熱心である」の順に多い。
- ・厚真地区では、「災害が起こってもみんなで助け合える」が最も多く、次いで「環境美化活動に熱心である」、「地域活動が活発」の順に多い。
- ・厚南地区では、「災害が起こってもみんなで助け合える」が最も多く、次いで「困っている人を助ける仕組みができて」、「環境美化活動に熱心である」の順に多い。
- ・全ての地区で、「災害が起こってもみんなで助け合える」が多く、「地区の将来について話し合っている」が少ない。

### 【回答数】

		そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない	回答者計	無回答等
地域活動が活発	北部地区	4	13	6	2	25	14
	厚真地区	10	44	54	15	123	28
	厚南地区	11	18	37	11	77	19
	無回答	2	7	4	4	17	6
積極的に地域活動に参加している	北部地区	6	9	6	3	24	15
	厚真地区	15	33	49	31	128	23
	厚南地区	11	27	26	14	78	18
	無回答	3	5	3	5	16	7
困っている人を助ける仕組みができて	北部地区	8	12	4	2	26	13
	厚真地区	7	46	52	19	124	27
	厚南地区	14	29	26	8	77	19
	無回答	3	7	6	1	17	6
防犯のための目配りができている	北部地区	7	9	7	4	27	12
	厚真地区	5	47	56	21	129	22
	厚南地区	7	30	32	10	79	17
	無回答	0	8	6	2	16	7
災害が起こってもみんなで助け合える	北部地区	11	11	4	1	27	12
	厚真地区	25	71	21	11	128	23
	厚南地区	30	38	7	4	79	17
	無回答	3	11	2	1	17	6
環境美化活動に熱心である	北部地区	4	14	2	4	24	15
	厚真地区	13	75	29	13	130	21
	厚南地区	14	26	27	11	78	18
	無回答	3	7	5	2	17	6
地区の将来について話し合っている	北部地区	1	8	10	5	24	15
	厚真地区	1	21	69	35	126	25
	厚南地区	5	11	42	19	77	19
	無回答	1	4	7	3	15	8



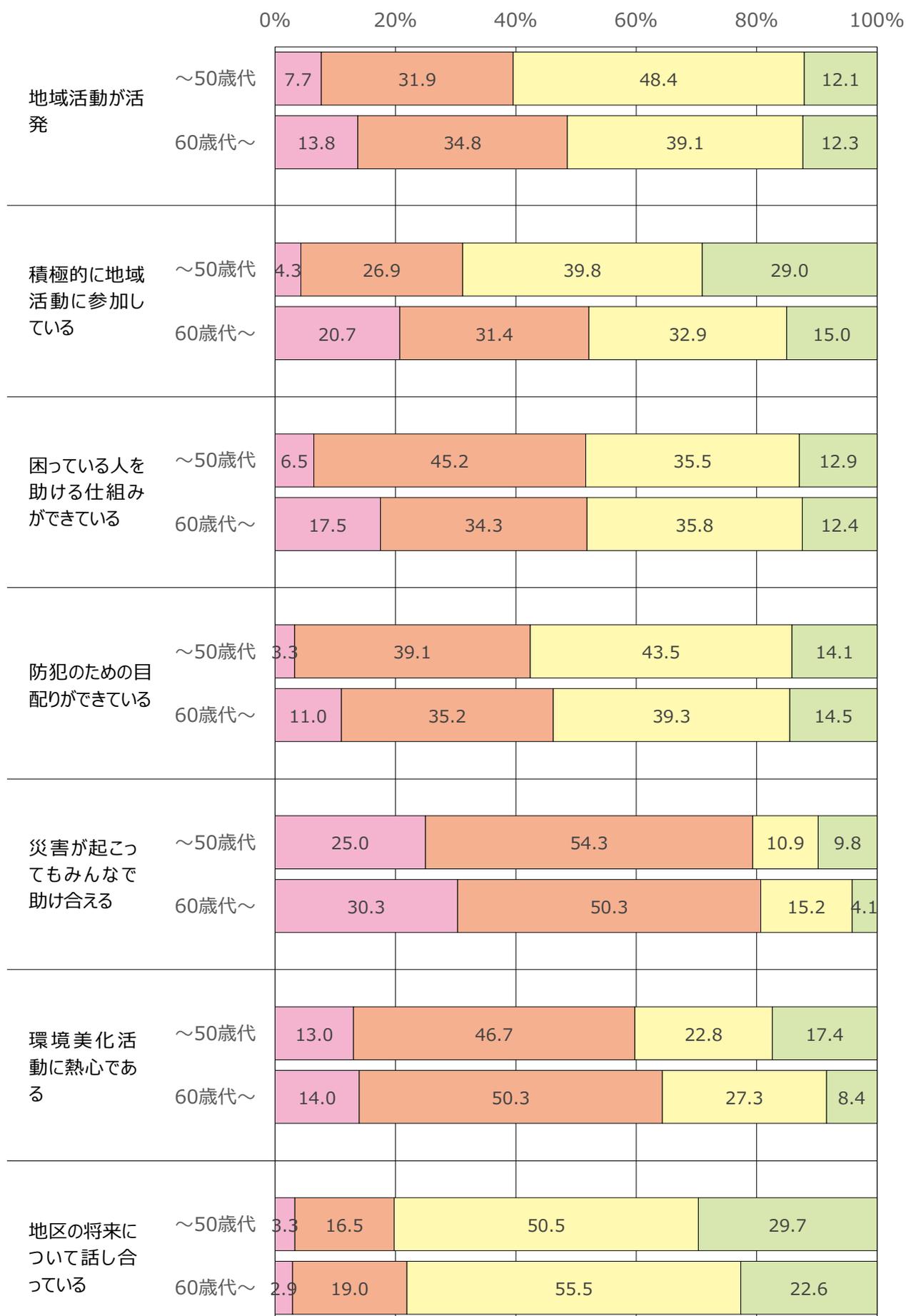
### 【自分の住んでいる地区の活動に対する感じ方×年齢】

「そう思う/ややそう思う」と回答した方の割合について、年齢別にみると、

- ・～50歳代では、「災害が起こってもみんなで助け合える」が最も多く、次いで「環境美化活動に熱心である」、「困っている人を助ける仕組みができている」の順に多い。
- ・60歳代～では、「災害が起こってもみんなで助け合える」が最も多く、次いで「環境美化活動に熱心である」、「積極的に地域活動に参加している」の順に多い。
- ・年齢を問わず、「災害が起こってもみんなで助け合える」が多く、「地区の将来について話し合っている」が少ない。

### 【回答数】

		そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない	回答者計	無回答等
地域活動が活発	～50歳代	7	29	44	11	91	20
	60歳代～	19	48	54	17	138	40
	無回答	1	5	3	4	13	7
積極的に地域活動に参加している	～50歳代	4	25	37	27	93	18
	60歳代～	29	44	46	21	140	38
	無回答	2	5	1	5	13	7
困っている人を助ける仕組みができています	～50歳代	6	42	33	12	93	18
	60歳代～	24	47	49	17	137	41
	無回答	2	5	6	1	14	6
防犯のための目配りができている	～50歳代	3	36	40	13	92	19
	60歳代～	16	51	57	21	145	33
	無回答	0	7	4	3	14	6
災害が起こってもみんなで助け合える	～50歳代	23	50	10	9	92	19
	60歳代～	44	73	22	6	145	33
	無回答	2	8	2	2	14	6
環境美化活動に熱心である	～50歳代	12	43	21	16	92	19
	60歳代～	20	72	39	12	143	35
	無回答	2	7	3	2	14	6
地区の将来について話し合っている	～50歳代	3	15	46	27	91	20
	60歳代～	4	26	76	31	137	41
	無回答	1	3	6	4	14	6

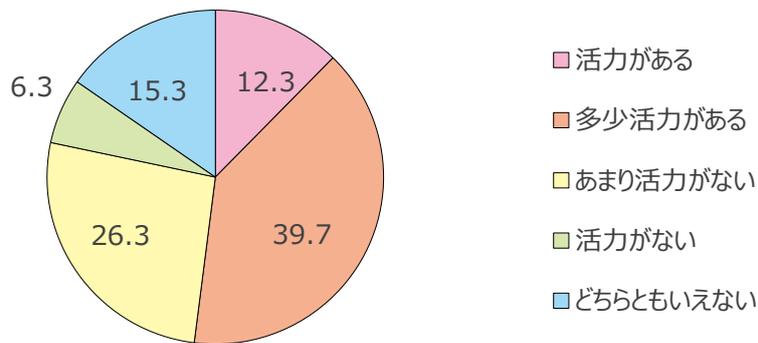


■ そう思う
 ■ ややそう思う
 ■ あまり思わない
 ■ 思わない

### 5) 現在の厚真町の活力（問10,単回答）

現在の厚真町の活力は、「活力がある/多少活力がある」と回答した方は約52%、「活力がない/あまり活力がない」と回答した方は約33%、「どちらともいえない」が約15%である。

	活力がある	多少活力がある	あまり活力がない	活力がない	どちらともいえない	回答者計	無回答
回答数	37	119	79	19	46	300	9
構成比	12.3	39.7	26.3	6.3	15.3	100.0	-

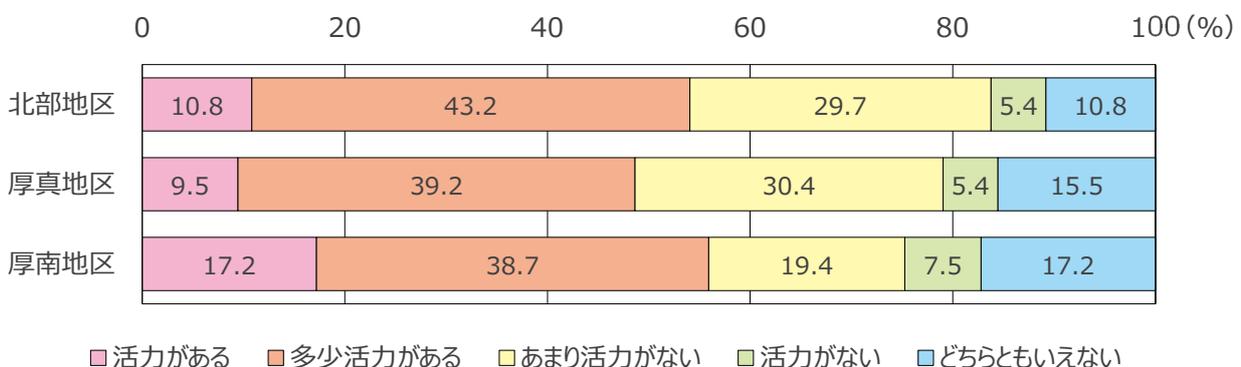


#### 【現在の厚真町の活力×地区】

地区別にみると、「活力がある/多少活力がある」と回答した方の割合は、厚南地区、北部地区、厚真地区の順に多く、いずれも50%前後である。

#### 【回答数】

	活力がある	多少活力がある	あまり活力がない	活力がない	どちらともいえない	回答数計	無回答
北部地区	4	16	11	2	4	37	2
厚真地区	14	58	45	8	23	148	3
厚南地区	16	36	18	7	16	93	3
無回答	3	9	5	2	3	22	1

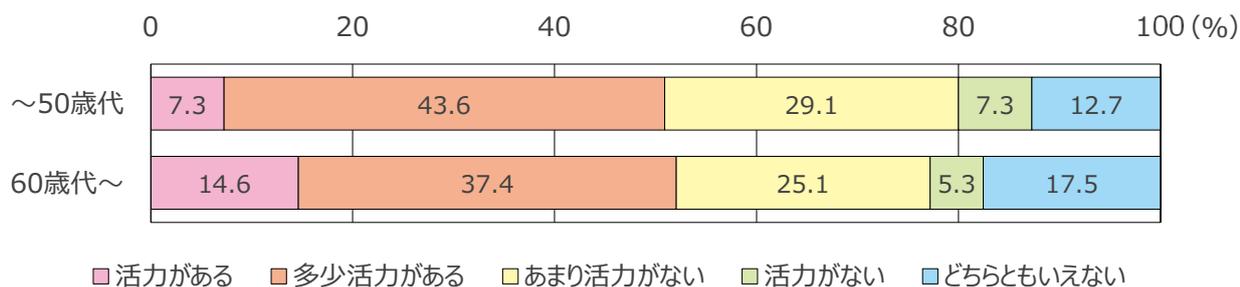


【現在の厚真町の活力×年齢】

年齢別にみると、「活力がある/多少活力がある」と回答した方の割合は、～50歳代は約51%、60歳代～は約52%と同程度であるが、「活力がない/あまり活力がない」と回答した方の割合は、～50歳代が約36%と60歳代～の約30%に比べて多い。

【回答数】

	活力がある	多少活力がある	あまり活力がない	活力がない	どちらともいえない	回答数計	無回答
～50歳代	8	48	32	8	14	110	1
60歳代～	25	64	43	9	30	171	7
無回答	4	7	4	2	2	19	1



## 6) 活力がある項目（問11,単回答）

「活力がある/やや活力がある」と回答した方の割合については、「子育て世代や若者世代の流入」が約67%と最も多く、次いで「地域を支える産業」が約55%、「就業・起業環境」が約45%である。

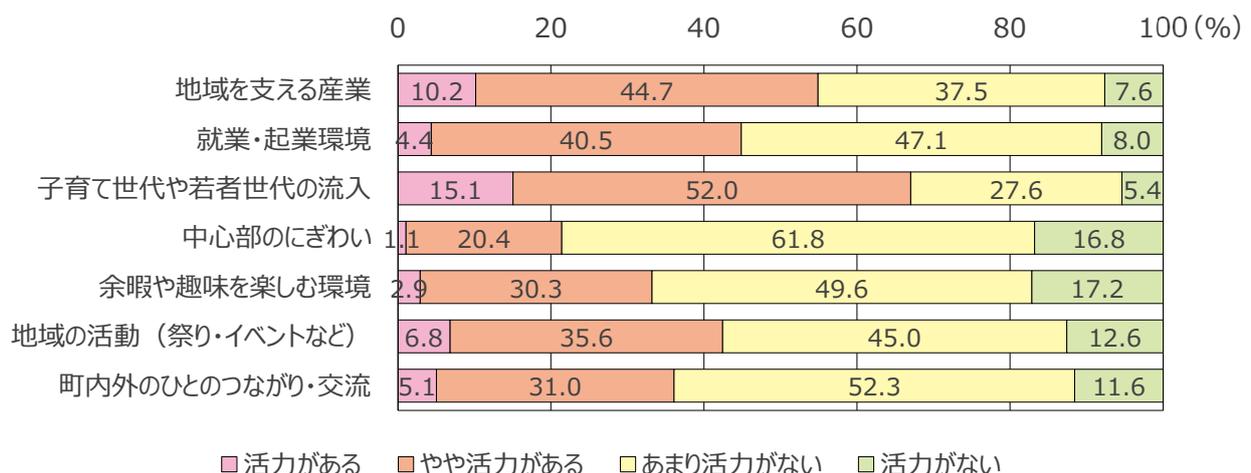
一方、「中心部のにぎわい」については、「活力がある/やや活力がある」と回答した方の割合が約22%と低い。

### 【回答数】

	活力がある	やや活力がある	あまり活力がない	活力がない	回答者計	無回答
地域を支える産業	28	123	103	21	275	34
就業・起業環境	12	111	129	22	274	35
子育て世代や若者世代の流入	42	145	77	15	279	30
中心部のにぎわい	3	57	173	47	280	29
余暇や趣味を楽しむ環境	8	83	136	47	274	35
地域の活動（祭り・イベントなど）	19	99	125	35	278	31
町内外のひとのつながり・交流	14	86	145	32	277	32

### 【構成比】

	活力がある	やや活力がある	あまり活力がない	活力がない	回答者計
地域を支える産業	10.2	44.7	37.5	7.6	100.0
就業・起業環境	4.4	40.5	47.1	8.0	100.0
子育て世代や若者世代の流入	15.1	52.0	27.6	5.4	100.0
中心部のにぎわい	1.1	20.4	61.8	16.8	100.0
余暇や趣味を楽しむ環境	2.9	30.3	49.6	17.2	100.0
地域の活動（祭り・イベントなど）	6.8	35.6	45.0	12.6	100.0
町内外のひとのつながり・交流	5.1	31.0	52.3	11.6	100.0



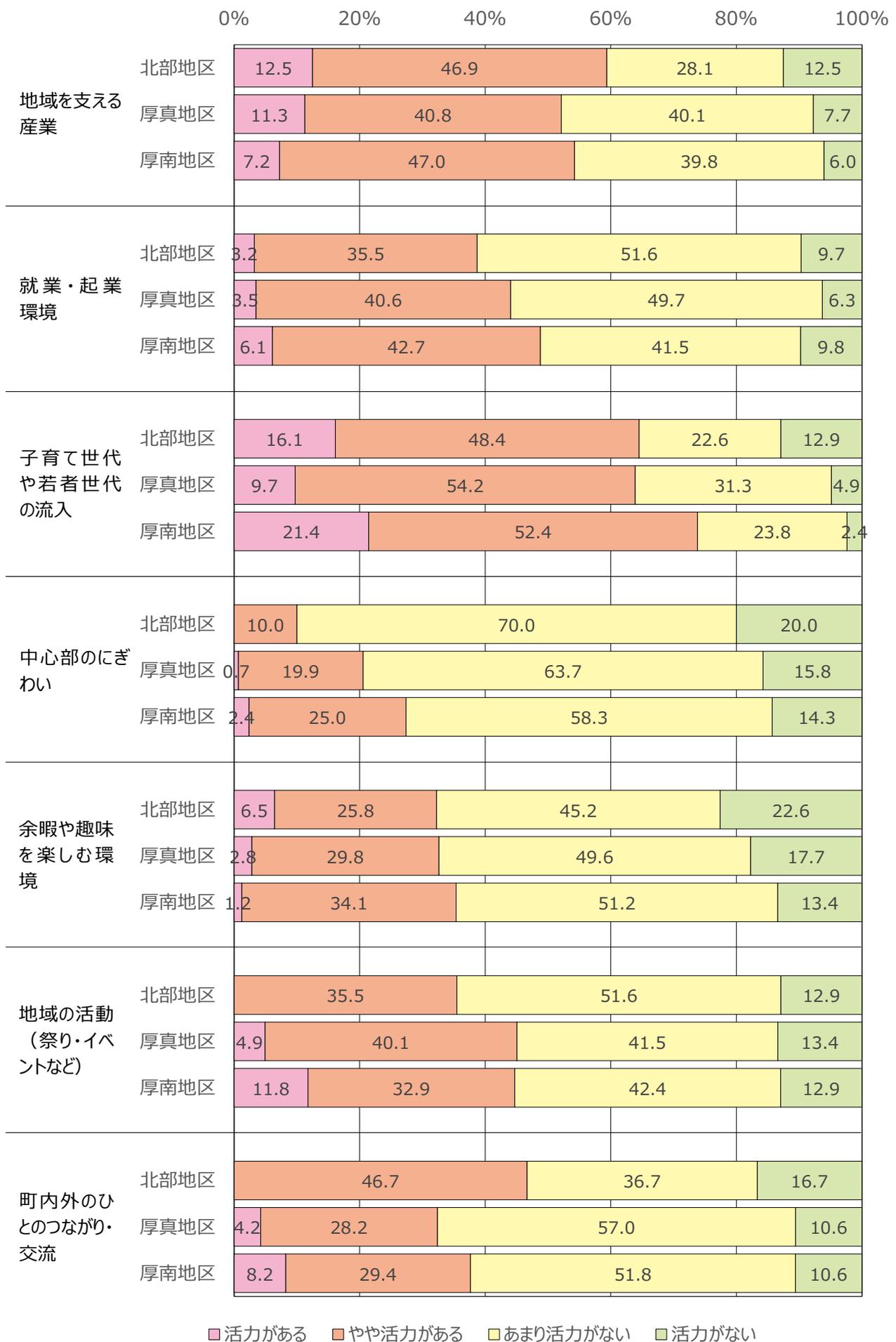
### 〔活力がある項目×地区〕

「活力がある/やや活力がある」と回答した方の割合については、

- ・北部地区では、「子育て世代や若者世代の流入」が最も多く、次いで「地域を支える産業」、「町内外のひととのつながり・交流」の順に多い。
- ・厚真地区では、「子育て世代や若者世代の流入」が最も多く、次いで「地域を支える産業」、「地域の活動（祭り・イベントなど）」の順に多い。
- ・厚南地区では、「子育て世代や若者世代の流入」が最も多く、次いで「地域を支える産業」、「就業・起業環境」の順に多い。
- ・「中心部のにぎわい」は全ての地区に共通して低い。

### 【回答数】

		活力がある	やや活力がある	あまり活力がない	活力がない	回答者計	無回答等
地域を支える産業	北部地区	4	15	9	4	32	7
	厚真地区	16	58	57	11	142	9
	厚南地区	6	39	33	5	83	13
	無回答	2	11	4	1	18	5
就業・起業環境	北部地区	1	11	16	3	31	8
	厚真地区	5	58	71	9	143	8
	厚南地区	5	35	34	8	82	14
	無回答	1	7	8	2	18	5
子育て世代や若者世代の流入	北部地区	5	15	7	4	31	8
	厚真地区	14	78	45	7	144	7
	厚南地区	18	44	20	2	84	12
	無回答	5	8	5	2	20	3
中心部のにぎわい	北部地区	0	3	21	6	30	9
	厚真地区	1	29	93	23	146	5
	厚南地区	2	21	49	12	84	12
	無回答	0	4	10	6	20	3
余暇や趣味を楽しむ環境	北部地区	2	8	14	7	31	8
	厚真地区	4	42	70	25	141	10
	厚南地区	1	28	42	11	82	14
	無回答	1	5	10	4	20	3
地域の活動（祭り・イベントなど）	北部地区	0	11	16	4	31	8
	厚真地区	7	57	59	19	142	9
	厚南地区	10	28	36	11	85	11
	無回答	2	3	14	1	20	3
町内外のひとのつながり・交流	北部地区	0	14	11	5	30	9
	厚真地区	6	40	81	15	142	9
	厚南地区	7	25	44	9	85	11
	無回答	1	7	9	3	20	3



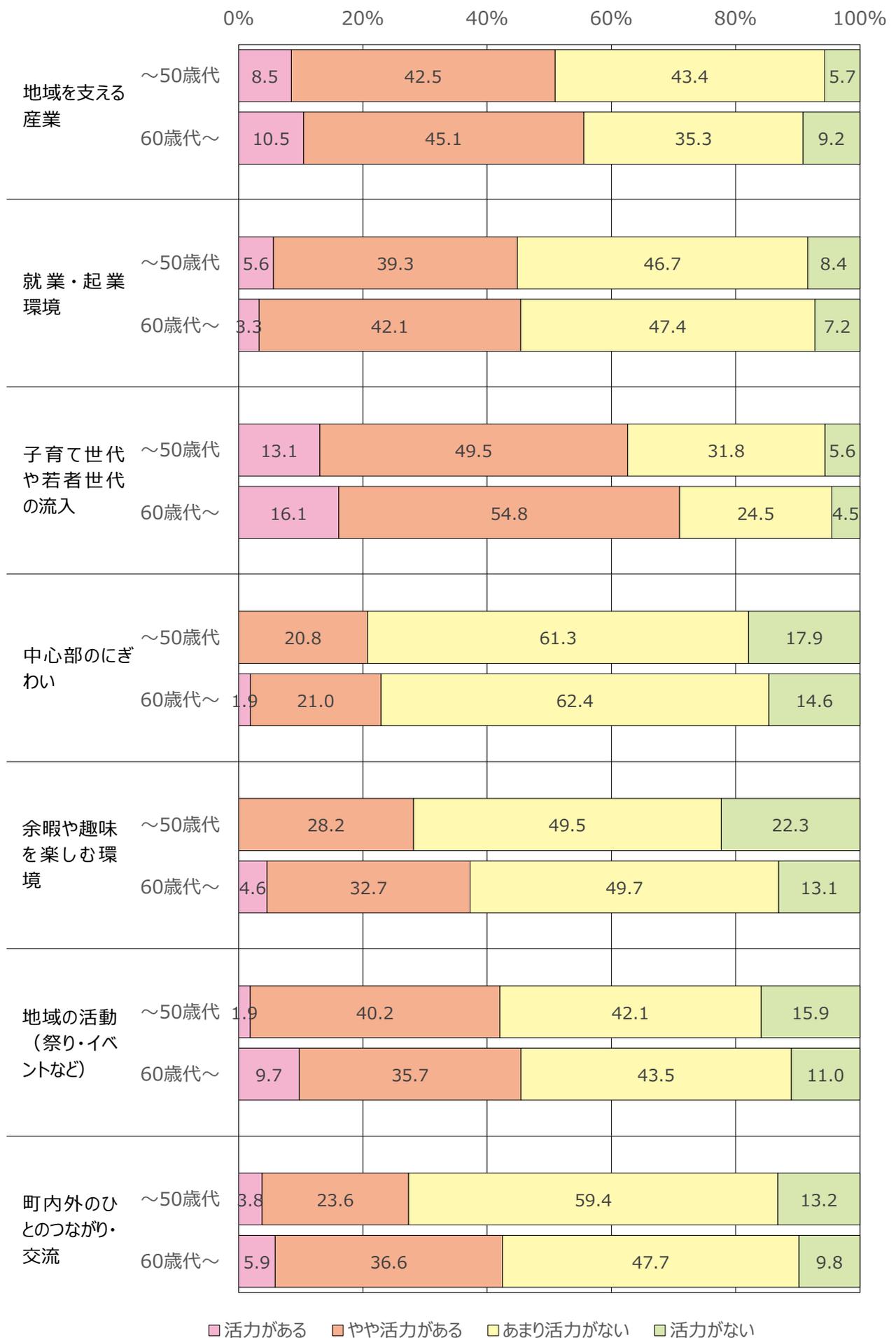
### 〔活力がある項目×年齢〕

「活力がある/やや活力がある」と回答した方の割合については、

- ・～50歳代では、「子育て世代や若者世代の流入」が最も多く、次いで「地域を支える産業」、「就業・起業環境」の順に多い。
- ・60歳代～では、「子育て世代や若者世代の流入」が最も多く、次いで「地域を支える産業」、「就業・起業環境/地域の活動（祭り・イベントなど）」の順に多い。
- ・「中心部のにぎわい」については、年齢を問わず低い。
- ・「町内外のひととのつながり・交流」や「余暇や趣味を楽しむ環境」については、～50歳代で低い。

### 【回答数】

		活力がある	やや活力がある	あまり活力がない	活力がない	回答者計	無回答等
地域を支える産業	～50歳代	9	45	46	6	106	5
	60歳代～	16	69	54	14	153	25
	無回答	3	9	3	1	16	4
就業・起業環境	～50歳代	6	42	50	9	107	4
	60歳代～	5	64	72	11	152	26
	無回答	1	5	7	2	15	5
子育て世代や若者世代の流入	～50歳代	14	53	34	6	107	4
	60歳代～	25	85	38	7	155	23
	無回答	3	7	5	2	17	3
中心部のにぎわい	～50歳代	0	22	65	19	106	5
	60歳代～	3	33	98	23	157	21
	無回答	0	2	10	5	17	3
余暇や趣味を楽しむ環境	～50歳代	0	29	51	23	103	8
	60歳代～	7	50	76	20	153	25
	無回答	1	4	9	4	18	2
地域の活動（祭り・イベントなど）	～50歳代	2	43	45	17	107	4
	60歳代～	15	55	67	17	154	24
	無回答	2	1	13	1	17	3
町内外のひととのつながり・交流	～50歳代	4	25	63	14	106	5
	60歳代～	9	56	73	15	153	25
	無回答	1	5	9	3	18	2



■ 活力がある
 ■ やや活力がある
 ■ あまり活力がない
 ■ 活力がない

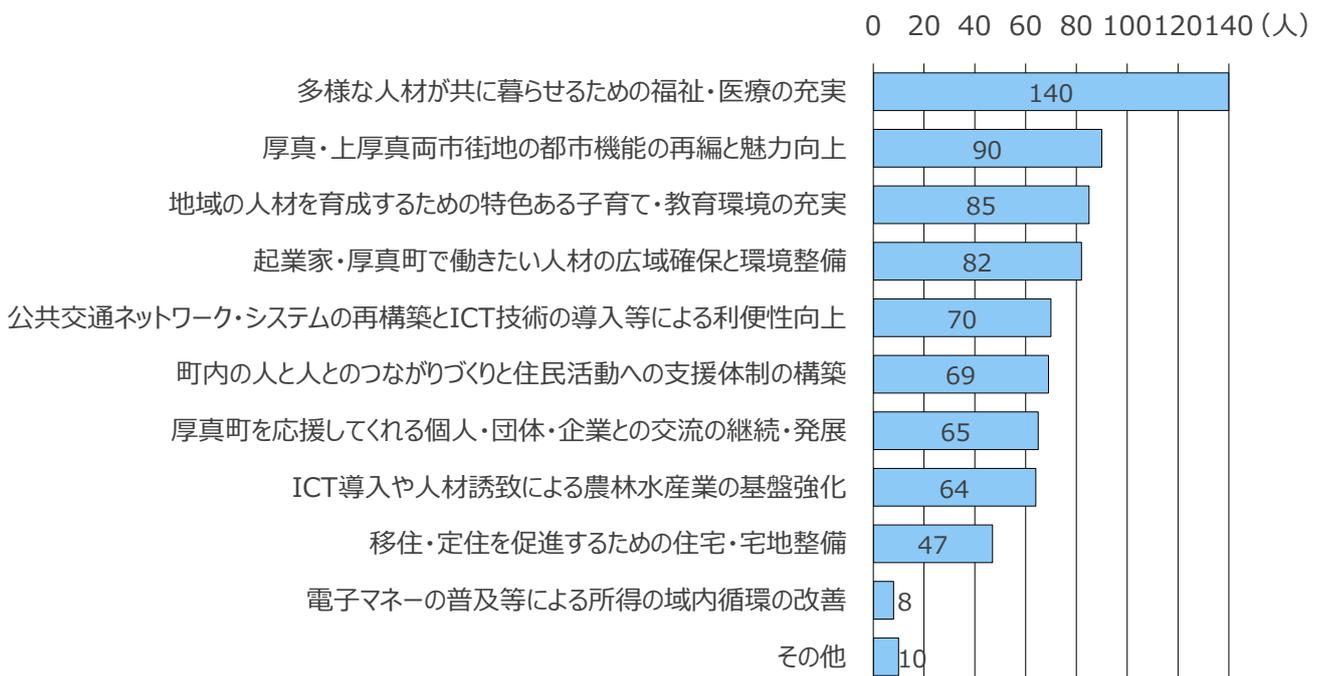
### 7) 持続可能で活力ある厚真町の実現に向けて特に期待する政策（問12,3つまで回答）

持続可能で活力ある厚真町の実現に向けて特に期待する政策は、「多様な人材が共に暮らせるための福祉・医療の充実」が140人と最も多く、次いで「厚真・上厚真両市街地の都市機能の再編と魅力向上」が90人、「地域の人材を育成するための特色ある子育て・教育環境の充実」が85人である。

	ICT 導入や人材誘致による農林水産業の基盤強化	多様な人材が共に暮らせるための福祉・医療の充実	地域の人材を育成するための特色ある子育て・教育環境の充実	起業家・厚真町で働きたい人材の広域確保と環境整備	電子マネーの普及等による所得の域内循環の改善	厚真・上厚真両市街地の都市機能の再編と魅力向上	移住・定住を促進するための住宅・宅地整備
回答数	64	140	85	82	8	90	47
構成比	22.5	49.3	29.9	28.9	2.8	31.7	16.5
	公共交通ネットワーク・システムの再構築と ICT 技術の導入等による利便性向上	町内の人と人とのつながりづくりと住民活動への支援体制の構築	厚真町を応援してくれる個人・団体・企業との交流の継続・発展	その他	回答数計	無回答	
回答数	70	69	65	10	284	25	
構成比	24.6	24.3	22.9	3.5	100.0	-	

#### （「その他」の内容）

- ・ポイ捨てをしない人間性の向上（特に大人への啓発）
- ・移住、定住のための仕事の確保や農地の斡旋等
- ・自然を生かす
- ・厚真で働ける場の確保
- ・特に高校以降の教育環境の充実
- ・よくわからない



【持続可能で活力のある厚真町の実現に向けて特に期待する政策×地区】

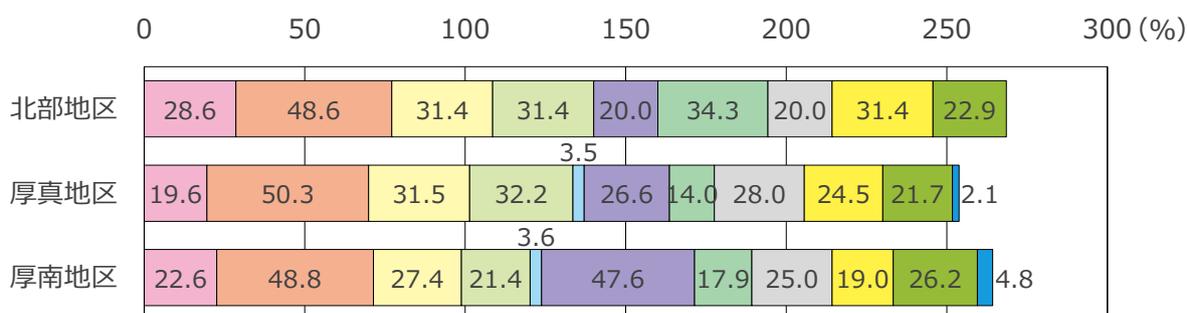
地区別にみると、

- ・北部地区では、「多様な人材が共に暮らせるための福祉・医療の充実」が最も多く、次いで「移住・定住を促進するための住宅・宅地整備」が多い。
- ・厚真地区では、「多様な人材が共に暮らせるための福祉・医療の充実」が最も多く、次いで「起業家・厚真町で働きたい人材の広域確保と環境整備」が多い。
- ・厚南地区では、「多様な人材が共に暮らせるための福祉・医療の充実」が最も多く、次いで「厚真・上厚真両市街地の都市機能の再編と魅力向上」が多い。

【回答数】

	ICT 導入や人材誘致による農林水産業の基盤強化	多様な人材が共に暮らせるための福祉・医療の充実	地域の人材を育成するための特色ある子育て・教育環境の充実	起業家・厚真町で働きたい人材の広域確保と環境整備	電子マネーの普及等による所得の域内循環の改善	厚真・上厚真両市街地の都市機能の再編と魅力向上	移住・定住を促進するための住宅・宅地整備
北部地区	10	17	11	11	0	7	12
厚真地区	28	72	45	46	5	38	20
厚南地区	19	41	23	18	3	40	15
無回答	7	10	6	7	0	5	0

	公共交通ネットワーク・システムの再構築とICT技術の導入等による利便性向上	町内の人と人とのつながりづくりと住民活動への支援体制の構築	厚真町を応援してくれる個人・団体・企業との交流の継続・発展	その他	回答数計	無回答
北部地区	7	11	8	0	35	4
厚真地区	40	35	31	3	143	8
厚南地区	21	16	22	4	84	12
無回答	2	7	4	3	22	1



- ICT導入や人材誘致による農林水産業の基盤強化
- 多様な人材が共に暮らせるための福祉・医療の充実
- 地域の人材を育成するための特色ある子育て・教育環境の充実
- 起業家・厚真町で働きたい人材の広域確保と環境整備
- 電子マネーの普及等による所得の域内循環の改善
- 厚真・上厚真両市街地の都市機能の再編と魅力向上
- 移住・定住を促進するための住宅・宅地整備
- 公共交通ネットワーク・システムの再構築とICT技術の導入等による利便性向上
- 町内の人と人とのつながりづくりと住民活動への支援体制の構築
- 厚真町を応援してくれる個人・団体・企業との交流の継続・発展
- その他

〔持続可能で活力のある厚真町の実現に向けて特に期待する政策×年齢〕

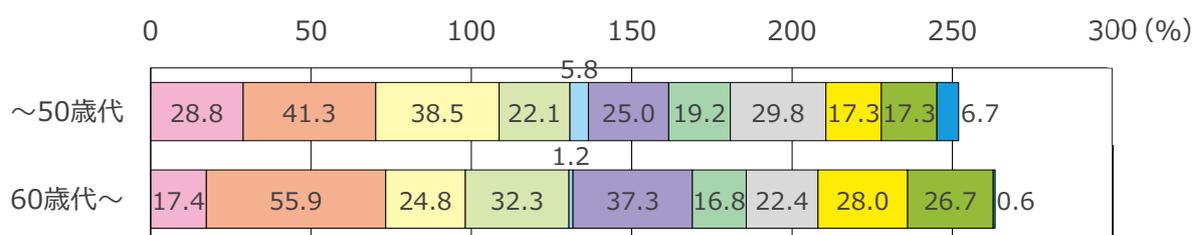
年齢別にみると、

- ・～50歳代では、「多様な人材が共に暮らせるための福祉・医療の充実」が最も多く、次いで「地域の人材を育成するための特色ある子育て・教育環境の充実」、「公共交通ネットワーク・システムの再構築とICT技術の導入等による利便性向上」の順に多い。
- ・60歳代～では、「多様な人材が共に暮らせるための福祉・医療の充実」が最も多く、次いで「厚真・上厚真両市街地の都市機能の再編と魅力向上」、「起業家・厚真町で働きたい人材の広域確保と環境整備」の順に多い。

【回答数】

	ICT導入や人材誘致による農林水産業の基盤強化	多様な人材が共に暮らせるための福祉・医療の充実	地域の人材を育成するための特色ある子育て・教育環境の充実	起業家・厚真町で働きたい人材の広域確保と環境整備	電子マネーの普及等による所得の域内循環の改善	厚真・上厚真両市街地の都市機能の再編と魅力向上	移住・定住を促進するための住宅・宅地整備
～50歳代	30	43	40	23	6	26	20
60歳代～	28	90	40	52	2	60	27
無回答	6	7	5	7	0	4	0

	公共交通ネットワーク・システムの再構築とICT技術の導入等による利便性向上	町内の人と人とのつながりづくりと住民活動への支援体制の構築	厚真町を応援してくれる個人・団体・企業との交流の継続・発展	その他	回答数計	無回答
～50歳代	31	18	18	7	104	7
60歳代～	36	45	43	1	161	17
無回答	3	6	4	2	19	1



- ICT導入や人材誘致による農林水産業の基盤強化
- 多様な人材が共に暮らせるための福祉・医療の充実
- 地域の人材を育成するための特色ある子育て・教育環境の充実
- 起業家・厚真町で働きたい人材の広域確保と環境整備
- 電子マネーの普及等による所得の域内循環の改善
- 厚真・上厚真両市街地の都市機能の再編と魅力向上
- 移住・定住を促進するための住宅・宅地整備
- 公共交通ネットワーク・システムの再構築とICT技術の導入等による利便性向上
- 町内の人と人とのつながりづくりと住民活動への支援体制の構築
- 厚真町を応援してくれる個人・団体・企業との交流の継続・発展
- その他

### 8) 災害につよいまちの実現に向けて特に重要な取り組み（問13,3つまで回答）

災害につよいまちの実現に向けて特に重要な取り組みは、「災害リスク情報の提供」が102人と最も多く、次いで「避難所の環境整備」が92人、「避難路・避難場所の整備」が91人である。

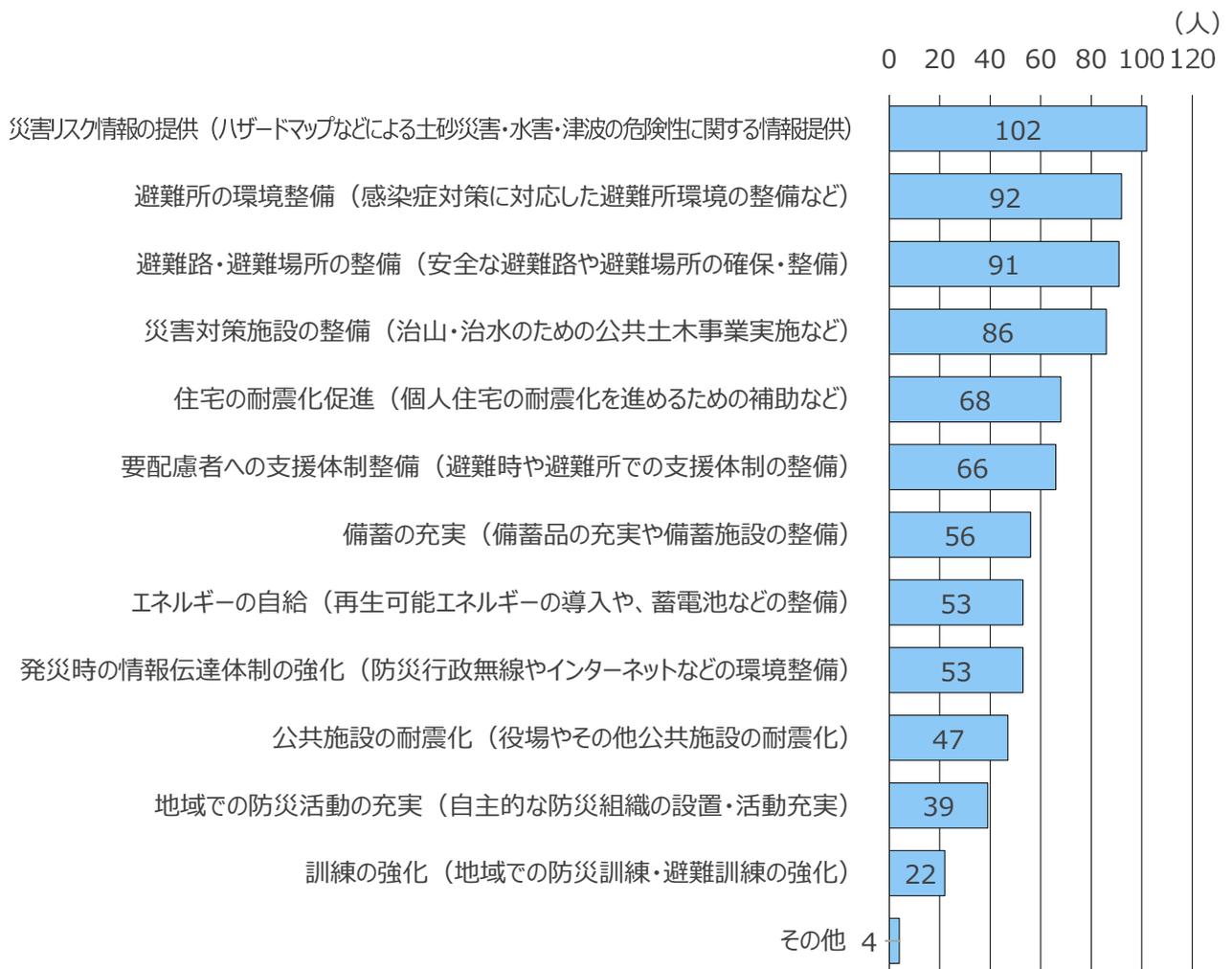
	災害リスク情報の提供	災害対策施設の整備	住宅の耐震化促進	公共施設の耐震化	避難路・避難場所の整備	避難所の環境整備	備蓄の充実	エネルギーの自給
回答数	102	86	68	47	91	92	56	53
構成比	35.2	29.7	23.4	16.2	31.4	31.7	19.3	18.3

	発災時の情報伝達体制の強化	訓練の強化	要配慮者への支援体制整備	地域での防災活動の充実	その他	回答数計	無回答
回答数	53	22	66	39	4	290	19
構成比	18.3	7.6	22.8	13.4	1.4	100	-

#### （「その他」の内容）

- ・給水施設（水道）の強化。災害時に断水しない様に。
- ・三陸地方に伝わる「てんでんこ」的、一人一人が災害に強くなる活動



## 【災害につよまちの実現に向けて特に重要な取り組み×地区】

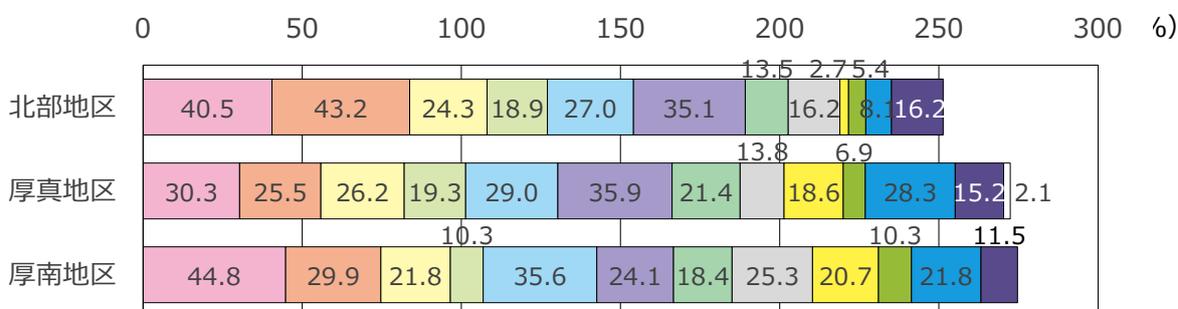
地区別にみると、

- ・北部地区では、「災害対策施設の整備」が最も多く、次いで「災害リスク情報の提供」、「避難所の環境整備」の順に多い。
- ・厚真地区では、「避難所の環境整備」が最も多く、次いで「災害リスク情報の提供」、「要配慮者への支援体制整備」の順に多い。
- ・厚南地区では、「災害リスク情報の提供」が最も多く、次いで「避難路・避難場所の整備」、「災害対策施設の整備」の順に多い。

## 【回答数】

	災害リスク情報の提供	災害対策施設の整備	住宅の耐震化促進	公共施設の耐震化	避難路・避難場所の整備	避難所の環境整備	備蓄の充実	エネルギーの自給
北部地区	15	16	9	7	10	13	5	6
厚真地区	44	37	38	28	42	52	31	20
厚南地区	39	26	19	9	31	21	16	22
無回答	4	7	2	3	8	6	4	5

	発災時の情報伝達体制の強化	訓練の強化	要配慮者への支援体制整備	地域での防災活動の充実	その他	回答数計	無回答
北部地区	1	2	3	6	0	37	2
厚真地区	27	10	41	22	3	145	6
厚南地区	18	9	19	10	0	87	9
無回答	7	1	3	1	1	21	2



- 災害リスク情報の提供（ハザードマップなどによる土砂災害・水害・津波の危険性に関する情報提供）
- 災害対策施設の整備（治山・治水のための公共土木事業実施など）
- 住宅の耐震化促進（個人住宅の耐震化を進めるための補助など）
- 公共施設の耐震化（役場やその他公共施設の耐震化）
- 避難路・避難場所の整備（安全な避難路や避難場所の確保・整備）
- 避難所の環境整備（感染症対策に対応した避難所環境の整備など）
- 備蓄の充実（備蓄品の充実や備蓄施設の整備）
- エネルギーの自給（再生可能エネルギーの導入や、蓄電池などの整備）
- 発災時の情報伝達体制の強化（防災行政無線やインターネットなどの環境整備）
- 訓練の強化（地域での防災訓練・避難訓練の強化）
- 要配慮者への支援体制整備（避難時や避難所での支援体制の整備）
- 地域での防災活動の充実（自主的な防災組織の設置・活動充実）
- その他

## 【災害につよまちの実現に向けて特に重要な取り組み×年齢】

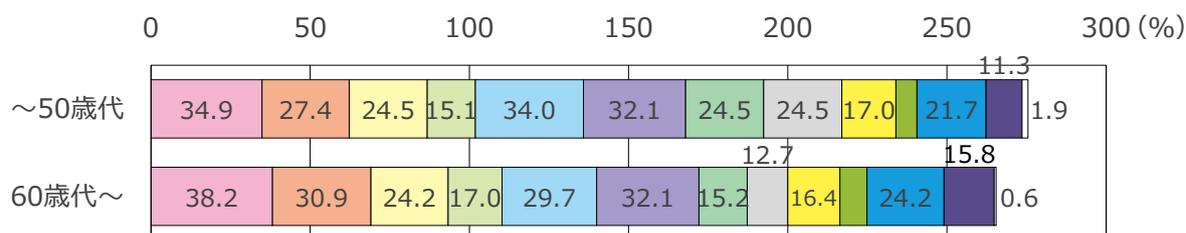
年齢別にみると、

- ・～50歳代では、「災害リスク情報の提供」が最も多く、次いで「避難路・避難場所の整備」、「避難所の環境整備」の順に多い。
- ・60歳代～では、「災害リスク情報の提供」が最も多く、次いで「避難所の環境整備」、「災害対策施設の整備」の順に多い。

### 【回答数】

	災害リスク情報の提供	災害対策施設の整備	住宅の耐震化促進	公共施設の耐震化	避難路・避難場所の整備	避難所の環境整備	備蓄の充実	エネルギーの自給
～50歳代	37	29	26	16	36	34	26	26
60歳代～	63	51	40	28	49	53	25	21
無回答	2	6	2	3	6	5	5	6

	発災時の情報伝達体制の強化	訓練の強化	要配慮者への支援体制整備	地域での防災活動の充実	その他	回答数計	無回答
～50歳代	18	7	23	12	2	106	5
60歳代～	27	14	40	26	1	165	13
無回答	8	1	3	1	1	19	1

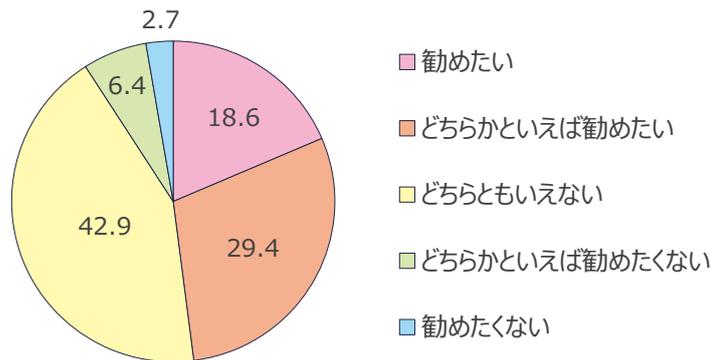


- 災害リスク情報の提供（ハザードマップなどによる土砂災害・水害・津波の危険性に関する情報提供）
- 災害対策施設の整備（治山・治水のための公共土木事業実施など）
- 住宅の耐震化促進（個人住宅の耐震化を進めるための補助など）
- 公共施設の耐震化（役場やその他公共施設の耐震化）
- 避難路・避難場所の整備（安全な避難路や避難場所の確保・整備）
- 避難所の環境整備（感染症対策に対応した避難所環境の整備など）
- 備蓄の充実（備蓄品の充実や備蓄施設の整備）
- エネルギーの自給（再生可能エネルギーの導入や、蓄電池などの整備）
- 発災時の情報伝達体制の強化（防災行政無線やインターネットなどの環境整備）
- 訓練の強化（地域での防災訓練・避難訓練の強化）
- 要配慮者への支援体制整備（避難時や避難所での支援体制の整備）
- 地域での防災活動の充実（自主的な防災組織の設置・活動充実）
- その他

### 9) 厚真町に住むことや訪れることを勧めたいか (問14,単回答)

自分の親しい人に厚真町に住むことや訪れることを勧めたいかについては、「勧めたい/どちらかといえれば勧めたい」と回答した方が約48%、「勧めたくない/どちらかといえれば勧めたくない」と回答した方が約9%、「どちらともいえない」が約43%である。

	勧めたい	どちらかといえ ば勧めたい	どちらともい えない	どちらかといえ ば勧めたくな い	勧めたくない	回答者計	無回答
回答数	55	87	127	19	8	296	13
構成比	18.6	29.4	42.9	6.4	2.7	100.0	-

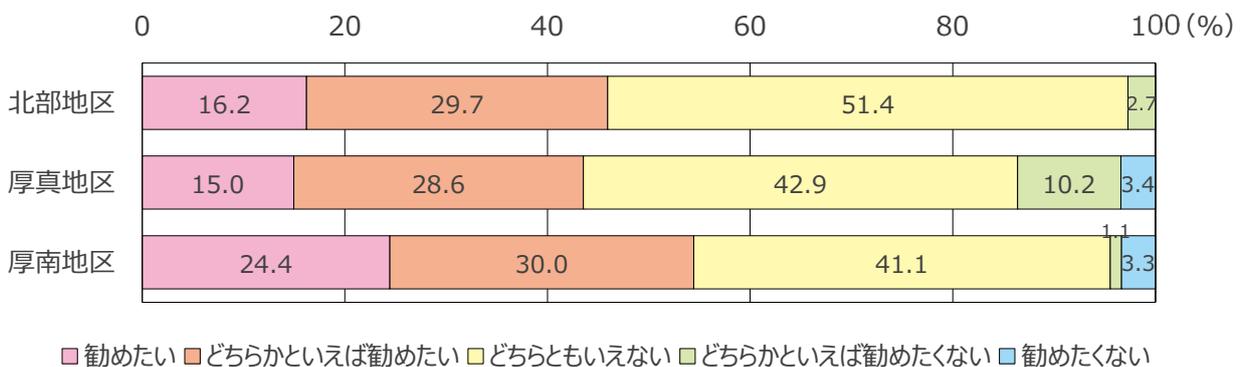


#### 【厚真町に住むことや訪れることを勧めたいか×地区】

地区別にみると、厚南地区において「勧めたい/どちらかといえれば勧めたい」と回答した方が他の地区に比べて多い。

#### 【回答数】

	勧めたい	どちらかといえ ば勧めたい	どちらともい えない	どちらかといえ ば勧めたくな い	勧めたくない	回答数計	無回答
北部地区	6	11	19	1	0	37	2
厚真地区	22	42	63	15	5	147	4
厚南地区	22	27	37	1	3	90	6
無回答	5	7	8	2	0	22	1

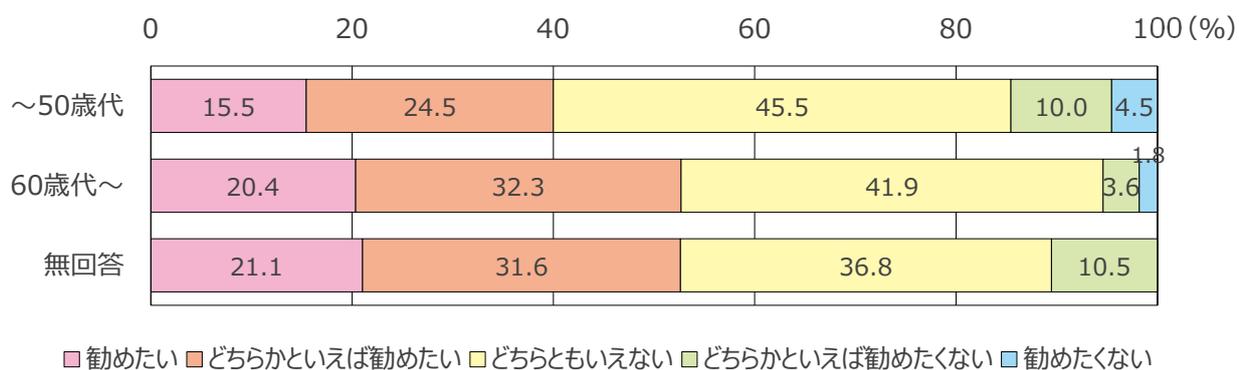


【厚真町に住むことや訪れることを勧めたいか×年齢】

年齢別にみると、「～50歳代」は「60歳代～」に比べて「勧めたい/どちらかといえば勧めたい」と回答した方の割合が少ない。

【回答数】

	勧めたい	どちらかといえば勧めたい	どちらともいえない	どちらかといえば勧めたくない	勧めたくない	回答数計	無回答
～50歳代	17	27	50	11	5	110	1
60歳代～	34	54	70	6	3	167	11
無回答	4	6	7	2	0	19	1



**10) これからも大事にしたい厚真町の魅力（問15,自由記述）**

これからも大事にしたい厚真町の魅力として挙げたフレーズには、「自然・緑」や「人のつながり・やさしさ・思いやり」を挙げる方が多く見られました。その他、「田舎暮らし・スローライフ」や「空港に近い立地」を挙げる方も複数見られました。

<b>自然・緑</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然がいっぱいの厚真</li> <li>・自然との共存</li> <li>・自然と一体化</li> <li>・自然の豊かさ！！</li> <li>・自然環境</li> <li>・自然環境との共生</li> <li>・共生</li> <li>・豊かな自然と住みやすい町</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊かな自然</li> <li>・緑の町 温情の町 厚真町</li> <li>・里山</li> <li>・ネイチャー・トレイル</li> <li>・野生動物に会える（かわいいリス）</li> <li>・稲穂が醸し出す季節感の変化、夕陽等の自然が美しい</li> <li>・自然満きつクラブ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・何も無いが自然はある</li> <li>・豊かな緑を大切に！</li> <li>・太古の自然を取り戻す町、厚真町</li> <li>・空気の良さ</li> <li>・水のありがたみ</li> <li>・青（春）、緑（夏）、金色（秋）の町</li> </ul>
<b>人のつながり・やさしさ・思いやり</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・人の温かさを忘れずに！</li> <li>・人と人とのあたたかさを大事にしたいです。</li> <li>・やはり、（人のあたたかさ）でしょうね</li> <li>・人のつながりがある町</li> <li>・1つの家族のような街</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・つながり会える町</li> <li>・豊かな人間性</li> <li>・温かい真心をもって</li> <li>・一歩ずつ前進</li> <li>・おもいやりのある地域がある厚真町</li> <li>・優しい心と思いやり</li> <li>・力強さ 思いやり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おもてなしの心</li> <li>・人情味の「あつまる人」</li> <li>・あいさつで、心をほぐす 町づくり</li> <li>・人と人とのつながり</li> <li>・繋がり</li> <li>・気さくさ</li> <li>・気取らない人づくり</li> </ul>
<b>田舎暮らし・スローライフ</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・田舎暮らしも いいよ～（あつま町）</li> <li>・田舎っていいね</li> <li>・田舎の底力</li> <li>・ドいなかパワー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・田舎暮らし</li> <li>・スローライフ</li> <li>・水田、山道などのスローライフそのものの</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住みよい町づくり</li> <li>・田園町 もっともっと綺麗になって欲しい</li> </ul>
<b>空港に近い立地</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・千歳空港までの便利さで日本各地と世界につながる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新千歳空港に近い田舎（田園都市）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空港やフェリーターミナルに近い。ほどよく便利な田舎町</li> </ul>
<b>その他</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全な食を提供する自然豊かな子育て環境</li> <li>・のびのびとした子育て</li> <li>・何も無いからいい！！</li> <li>・飾らない町</li> <li>・「あづましいあつま」北海道弁で「居心地がいい」厚真</li> <li>・安心して住める町を目指す</li> <li>・安心安全、そして自他共愛</li> <li>・自然災害に強い街づくり</li> <li>・セカンドライフの町 厚真町</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ニューライフスタイル厚真</li> <li>・みらい創造のまち</li> <li>・手を携え、力強く前進しよう！</li> <li>・人、食、環境 心も体も豊かになる町 食 地産地消できるのは良い言い過ぎました？</li> <li>・変わらない魅力厚真町</li> <li>・地球を大切にす町</li> <li>・「役人ではない、住民が創る町 厚真」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町長、災害に一生懸命はたらいてくれたこと。町役員の方々全員一生懸命働いてくれたこと。</li> <li>・噂のない街 厚真町</li> <li>・ポイ捨てのない街 厚真町</li> <li>・あすなる魂アツマ人</li> <li>・これからますます厚真だ！</li> <li>・つきすぎず、はなれすぎず</li> <li>・私の好きな町</li> <li>・なあなあ</li> </ul>

#### (4) 厚真町のまちづくりについての意見・要望（自由記述）

<ul style="list-style-type: none"> <li>・〈君のいすについて〉地震後に生まれた子供たちにプレゼントをすることはとてもいいことだと思います。でも、地震中、いなかった方(厚真町内)にもプレゼントするのは違うのではないかと思います。その中に役場職員の子どもも2人いると聞きました。H29に生まれた子は、とても大変な生活でした。その子たちや頑張っていた母親などに何もなく、町外にいた子達を大切にするのはおかしいと思います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートをやってみました。農業、市内の内容ばかりで、市内以外の人達の事も少しは考えて欲しいと思います。</li> <li>・このアンケートは、厚真町全体とは言い難いような感じがしました。</li> <li>・私のように、遠方から嫁いで来た者からすれば、知り合いも誰もいなくて外に出て人と交流したくても出来ない人もいると思う。交流が出来るイベントとは言わないが、誰でも参加できる、人と交われるものを作って欲しいです。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・オシャレにのんびり過ごせるキャンプ場（バーベキュースペースもあり、パークゴルフなども楽しめるとキャンプ利用以外にも人が集まれるのかな？）</li> <li>・学生が集中して学習できるようなスペースが欲しい。（仕切りなどがあると良い）図書館ではなく、食事もとれると嬉しい。町内にはそういう場所がなく、わざわざ休日に苫小牧まで行って勉強したりするので、20:00くらいまで利用できる嬉しい。町内には勉強など学びたい子がたくさんいると思います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・カフェや夜のバー、居酒屋さんなど飲食店を多くして欲しい</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・リフォーム補助はありましたが、外構補助もして欲しい。</li> <li>・住宅の一部損壊では、基礎コンクリートのヒビ割れは直せません。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・吉野地区の桜の並木 100 本植樹する事</li> <li>・吉野地区教育の発祥の地場所に慰れいひを作る事</li> <li>・富里檜山地区に桜の並木 100 本植樹する事</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・厚真町は自然がいっぱいで環境は最高です。又、皆さんの後継者がいなく、ただ荒地の土地が多いようなので、町外の方で田舎暮らしをしてみたいという方に作ってもらってはと思います</li> <li>・住みたくなるような街。例えば沿道にお花をずらりと植えてれば、通人(町外の人)に厚真町の心の豊かさを PR できる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・上厚真大橋の架け替え</li> <li>・公営住宅、福祉施設⇒快適に生活できる様、エアコンなどの設置</li> <li>・福祉施設⇒最後の住み家なのに、暑かたり寒かたりするのは、同なのでしょうか？</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・上厚真地区に、セーコマ等のコンビニを希望します。</li> <li>・高齢で離農、廃農する人たちと就農希望をする人たちのサポート関係が出来たら良いのかもと感じています。高齢者のいない農家にアンケートを取り、就農希望者にサポートしてもらう。その代わりに、土地の一部を貸して、技術指導をする。という考えがあればよいと思います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・導水路の破壊によって、従来の自然流下による、農業用水の確保という経験をした。これは貴重な経験であったと考えています。復旧にしても、長い年月にはいずれ利用不可能になると思います。自然を大切にして、この町を育んできた山川を守っていくことが大切です。乱開発が心配です。</li> <li>・高い丘のゴルフ場跡地で牛の飼養が計画されていますが、口蹄疫を心配しています。牛⇒鹿が起らないのか、大丈夫でしょうか。</li> <li>・非農地用の除草剤の使用が多すぎます。農産物の厚真ブランドは確立できないと考えています。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃町民の皆さんとコミュニケーションを取り合う。</li> <li>・確かな情報や伝達をお願いしたい。</li> <li>・医療、福祉は進んでいるが、安心して利用できるように。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活の需要を満たすレベルの商業施設の誘致現状、大半の住民は生活必需品などの買い物町外に求めていると思います。町内での供給、選択肢の確保を要望します。厳しいかと思いますが、商業施設の誘致、地域住民向けの直売所の開設等</li> <li>・公共交通機関の充実。一部時時間帯の路線を除いて、バスの小型化、路線の見直し、都市部への路線拡張</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・崩れた山々が緑を取り戻すのに、どれだけの年月がかかるかわからない。</li> <li>・公共施設が堤防のすぐそばにあるのが、気がかりです。新庁舎とする時、一考が必要だと思います。</li> </ul>

(前頁の続き)

<p>・アンケートもいいが、それをどう生かしていくかが求められている。直接町民の声を聞く“町民まちづくり 100 人委員会”とか、継続性を持ち、持続的に町づくりを進める、本物の姿勢が求められている。</p>
<p>・どの世代の人も、厚真に住んで幸せと思える街であり続けるよう、よろしくお願いします。</p>
<p>・上厚真地区ばかり開発に力が入っているように感じる</p>
<p>・このアンケートの調査からどのようにまとめるのか分かりませんが、絵に描いたもちにならないようお願いします。</p>
<p>・これから（現在進行中）の高齢者世帯に対し、個人情報だからと言いつぎような気がします。インターネットで、と情報提供も大切に思いますが、使いこなせない世代の対応も考慮して欲しいです。せめて、各自治会長や班長などが把握しても良いのではないのでしょうか。</p>
<p>・コロナ問題があり、避難の時に厚真町はどんな対応をするのかと、他地域災害ニュースを見て感じました。具体的な方法を何も起きていない今のうちに町民に示したら、みんな安心すると思いました。地震の時に町の対応について転入してきた人がツイッターでひどく文句を言っていたので、世界に向けて言わなくても。。と悲しく思いました。先手を打って、対策を分かりやすく出して欲しいなと感じました。</p>
<p>・ネット社会のため、町全体に光がないと人も集まらないと思う。人を集めようと思うなら、まずそこから始めていかないとだめだと思う。</p>
<p>・ハスカップとジンギスカンだけが、厚真町の売りではないと思います。町外では、厚真産骨付きチキンスープカレー、厚真豚を使用している居酒屋など見かけます。他にも桜姫や、ななつぼし等誇れるものがあります。これらの物産を扱う場所を一カ所に集めると町外の人 came 時も分かりやすいのではないかと思います。良い例が、安平町の道の駅です。地元のを調理・加工を含めて地元で売るとい仕組みがあっても良いのではないのでしょうか。過去の道の駅の成功例を見ていると、どうしても国道沿いになってしまうかと思いますが、（厚真 IC 付近になりますでしょうか）大地震で有名になってしまったことを逆に利用して、復興の象徴として思い切って道の駅を作るといった案を提案させていただきます。</p>
<p>・外部の組織に活性化をお願いするのはいいが、お金(税金)ばかり持っていかれて、特に目立った成果は上がっていないように見える(※エーゼロなど)。これからも厚真町を「金ヅル」とみて参入しようとする組織は増えてくると思う。※税金の無駄使いにならぬよう気を付けて欲しい！！主張は正々堂々と名前を名乗って欲しいもんですね！！</p>
<p>・活気ある町に 人口減少に対する取り組み</p>
<p>・近隣に大学が欲しい。働く、住む、子育てをしながら、親の介護もできる。人に優しい町になって欲しい。</p>
<p>・近隣の町の方から、「厚真町はいいね」と言われます。震災の際にも、コロナ対策においても、早い時期から補助金、給付金等の対応をしてくれたり、必要な方に、必要な対応をしてくれていると。他町の方と話して、改めて認識しております。ありがとうございます。</p>
<p>・現在 70 歳。車の運転はあと 4 年で免許切り替えなので、その時点で返納したいと考えていますが、身体の老化を考えると、短距離にも移動が不安になる。希望としては移動の便利なかたち、生活用品、食糧も含め、購入しやすい手立てが欲しい。車を手放す不安の解消が見えにくい。</p>
<p>・厚真町に転居して数カ月のため「復旧、復興」に関する事はよく分かりません。前述と関係ない事ですが、一点要望があります。 ・個人に町内の土地売買をしない事。町が乗っ取られます。注意して！</p>
<p>・高齢化に伴う免許返納等により、公共交通ネットワークシステムの課題は、喫緊のものと思われれます。現状、めぐくんの運行などしておられますが、町民（特に高齢の町民）の意見に耳を傾け、よりよい町になるように改善して頂ければと思います。私事となりますが、今年本州の会社を退職し、実家に住んでおりますが、仕事の関係で近日中に苫小牧に転居します。しかしながら、今後も故郷である厚真町のお役に立てることがあればと思っております。</p>
<p>・今、このコロナ禍の中、町づくりについてもなかなか考えられず、しかも、いろいろな事を考えたところで、どこまで実現可能か、先が見通せない。コロナから身を守る事が、精一杯で積極的に復興について行動出来ないでいる。</p>
<p>・今後の災害時の情報伝達として「見えるラジオ」（文字情報）も一つの伝達手段と考えてはどうか？災害時、テレビやインターネット、スマホが停電や通信障害で使用できなかった。ラジオは電池で使用でき、聞くことが出来たが、聴覚障害者、高齢者、外国人を考えると文字情報として、見えるラジオをかんがえてはどうか。それが、災害に強い町の 1 つになるのでは。</p>

(前頁の続き)

<p>・今年の秋に復興住宅が出来上がり、それぞれが入居するでしょうが、決して一人にならないように誰かしらとつながっていけるようにしていただきたいと思います。</p>
<p>・困っていることを意見箱に出したが、何も解決されていません。町民の意見や困っていることに、耳を傾けてくれる町になって欲しいです。</p>
<p>・子どもたち好きなスポーツをさせてあげたい。上厚真ではむりですかね？</p>
<p>・子育て世帯が流入しやすくなる環境作り</p>
<p>・新町パークゴルフ場を復活して欲しい。場所と大きさは以前と同じじゃなくても良いので復活してもらい、町民の活性化と町外からの利用で、町民と町の活性化が同時に図れるのではと思う。</p>
<p>・大人も遊べるアウトドア</p>
<p>・札幌へ 1 時間 30 分、港の苫小牧、空の千歳まで 30 分～40 分で自家用車で行ける立地条件にもかかわらず、大自然が広がる厚真町の魅力は最高で、これからも全国へ発信していくことが必要です。町はいろいろ産業を模索し、挑戦しているものの、どれもこれもが中途半端のため、職員に負担がかかっている感が否めない。2018 年の地震で山林が崩壊し、復旧復興工事は進んでいるが、人の手が入りすぎてあまりにも人工的な自然には疑問を感じる。町としての将来像を示し、町民に開示し、理解を得る努力をして欲しい。</p>
<p>・趣味があって、好きな事が出来る環境を求めて移住してこられた方が多いように感じますが、毎日のように日が暮れてからもガンガンとんととされてはうるさい。酷い時は、真夜中にエンジンをふかす始末。夏場は窓を開けて寝る事が多いと思いますが、騒音で眠れない時もあります。今後は、そういうことのない、「モラル」をもった方だけ移住して頂きたい。</p>
<p>・障害者などのサポートをお願い申し上げます。親切にさせていただいており、大変感謝をしておりますが、ずっと続きます事を祈っております。介護施設が他の市町村にお世話になるのではなく、厚真に出来る事を願っております。</p>
<p>・上厚真地区は、支援住宅に力を入れているけれど、若い人達から見るとお店が少ない。子どもがいると急に必要になるものが多いのに、買える場所がない（苫小牧、むかわまで行かなくては・・・）環境は良いけれど、不便さが残るので、人に勧めるまではいかない。店が閉まる時間も早い。店が増えれば人は増える。難しいかもしれないけれど、そういうイメージが苫小牧の人からはついているのが現実。</p>
<p>・胆振東部地震で自宅を失った高齢者で年金生活者に住みやすい環境づくり</p>
<p>・中心部はそれなりに活気があるが、少し外れてしまうと、活気があまりない気がします。集まらないかもしれませんが、集まれる場所（今はだめですが）今後の為に、もっとあっても良いのかなと思いました。中心によりすぎる?? 役場が施設が暗い。スタッフに笑顔があまりないかも。忙しいかもですが、コミュニケーションの場でもあるため、もう少し元気になって欲しいと思いました。私自身知らなく申し訳ありません。でも私は厚真好きです。</p>
<p>・町の遊休山地を活用し、継続して桜の園を造成する。</p>
<p>・町内どこのお店を利用しても、基本的な接客が出来ていないところが多い。接客レベルが低すぎるので、どんなに町を活性化しようとしても無理だと思います。</p>
<p>・町内に十分な医療機関がないので、せめて町外の受診がしやすいように交通機関の充実をして欲しい。</p>
<p>・町内の（特に農村部や道路わき等）ポイ捨てされたゴミが目立ちます。川は濁り、魚たちの姿がみえません。一見きれいな風景が広がっていますが、自然は確実に壊れています。次世代、更にその先の世代の子ども達に自然と共存し、共に生きていける社会を今の大人が手本となって育てていきたいと思います。</p>
<p>・町内の手腕に期待！</p>
<p>・問 12 で、6 の移住、定住を促進するには、上厚真地区のインターチェンジ付近高速道路を有効に活用した住宅造成をし、安価な土地代と苫小牧等への短時間通勤可能で、1 区画を 100 坪～120 坪程度の大面積を売り出す。</p>
<p>・遊歩道の手入れ、田んぼの草刈り等、普段の暮らしに力を入れる町であって欲しいと思います。</p>
<p>・良いと思う事を実現していけば良いと思う。私には、町づくりについて考えるだけの心の余裕がないので、頑張ってくださいとしか言えない。</p>
<p>・お店が少なくなったのでさびしいです</p>

## (前頁の続き)

- ・移住を考えていた時には良い話（例えば就職など）を多く聞いていたが、実際に住みだすと町内での仕事もなく（パートはあるが）他の市に働きにいくしかなかった。フォローしてくれるという（就職以外でも）ことは全くなく、移住したと勝手に町役場とのつながりはとだえた。今後移住してくる人にはフォローをしっかりとあけてほしい（この話は他の方からもよく聞くので）。
- ・地震に伴うつなみについて、宮の森こども園の立地については、海や川の近くに建てられている。小学校は高台に建てられているにもかかわらず川を渡らないと行けないのでは避難できないのではないか。他に高い建物もまわりにはなく心配だ。その他の面でも、町内では子どもは数少ないので、もっと大切にあってほしい。
- ・どの町でも同じだとは思いますが、昔から住んでいる人と新しく入ってきた人のへだたりを感じる。昔からの良さも残しつつ、新しい風にももっと対応してほしいと感じる。
- ・役場に問い合わせをすると、担当グループであっても担当者がいないのでわからない、又は調べてから返事をするということがある。一生懸命対応してくださる方とそうでない方がいる。まず、町を活性化するなら町役場にもっと活力を。特に若い職員の方々には活々と働いてほしいと思う。
- ・移住者にとって最後までこの町で住みたいと思うが実際を考えると無理と思っている。いつかどこかの時点で離れ、安心して末期を向かえられる場所に移るしかないと思う。

## (参考) アンケート票

### 厚真町の復旧・復興とまちづくりに関するアンケート

＝ 皆さまのお声をお聞かせください ＝

町民の皆さまには、日頃より町政にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

町では、町政の基本となる『厚真町総合計画』を策定し、これに基づきまちづくりを進めていますが、この度、平成30年北海道胆振東部地震（以下、胆振東部地震という。）の影響や様々な社会経済情勢の変化を踏まえ、計画の改訂作業に着手しています。また、町では『厚真町復旧・復興計画（第1期・第2期）』を策定し、復旧・復興への取り組みを進めていますが、今後は暮らしや景観の再生に継続的に取り組みながら、より中長期的なまちづくりの視点を持った取り組みを行うため、第3期となる計画の策定にも着手しています。

そこで、両計画の策定にあたって、町民の皆さまのご意見をお聞きすることが重要と考え、このたび、町内にお住まいの18歳以上の方々から地区別、性別、年代別に無作為抽出した計800名を対象に、アンケート調査を実施することといたしました。

ご回答いただきました内容は、統計的に処理するものであり、結果の公表に際しては個人が特定できないようするとともに、町政運営以外の目的には一切使用いたしませんので、お考えのままをご記入いただけますようお願い申し上げます。

令和2年7月

厚真町長 宮坂 尚市朗

#### 《ご記入に際してのお願い》

- ご回答は、**あて名のご本人**がご記入ください。ご本人が記入することが難しい場合は、家族の方等が代筆してください。
- ご記入は、**黒のボールペンまたは濃い鉛筆**でお願いいたします。
- ご回答は、次の要領で行ってください。
  - あらかじめ設けてある選択肢の中から選んで○印をつけてください。
  - 回答の○の数は、【○は1つだけ】【○は3つまで】【○はいくつでも】などと指定していますので、それに合わせてください。
  - ご自分の答えが選択肢にない場合は、「その他（ ）」を選び、（ ）内にその内容を具体的に記入してください。
  - 一部の方だけにお答えいただく質問もありますが、その場合は矢印や説明文に従ってお答えください。
- ご記入が終わりましたら、同封の返信用封筒に入れ、**8月16日（日）**までにポストにご投かんください。切手の貼り付け、住所・氏名の記入の必要はありません。
- 記入上の不明な点、調査についてのお問合せは下記までお願いいたします。

#### 【調査についての問合せ先】

厚真町 まちづくり推進課 地方創生・復旧復興計画策定室

〒059-1692 北海道勇払郡厚真町京町 120 番地

電話 0145-27-3179 FAX 0145-27-2328

胆振東部地震の被害からの復旧・復興状況についてお聞きします。

問 1 1年前に比べ、下記の項目はそれぞれ回復したと思いますか。【それぞれ〇は1つ】

	震災前と変わらない	回復している／概ね回復している	あまり回復していない	回復していない	悪くなっている
(例) ① 田畑などの農地	1	②	3	4	5
① 田畑などの農地	1	2	3	4	5
② 山林などの自然景観	1	2	3	4	5
③ まちなみ・住宅地の景観	1	2	3	4	5
④ 地域の経済	1	2	3	4	5
⑤ まち全体の活気	1	2	3	4	5
⑥ 人と人とのつながり	1	2	3	4	5
⑦ ご自身の暮らしむき	1	2	3	4	5

問 2 下記の項目について、今後の見通しに不安はありますか。【それぞれ〇は1つ】

	良くなると思う／不安はない	あまり不安はない	やや不安に思う	不安に思う	わからない
① 田畑などの農地の再生	1	2	3	4	5
② 山林などの自然景観の再生	1	2	3	4	5
③ まちなみ・住宅地の景観の再生	1	2	3	4	5
④ 地域の経済	1	2	3	4	5
⑤ まち全体の活気	1	2	3	4	5
⑥ 人と人とのつながり	1	2	3	4	5
⑦ ご自身の暮らしむき	1	2	3	4	5

問3 現在、不安に思っていることはありますか。【〇はいくつでも】

1. あなた自身の心身の健康状態
2. ご家族の心身の健康状態
3. 家計の状況
4. 住宅再建の方針（どうするか決まっていない・判断に迷っている）
5. 住宅再建の進み具合（予定通りに建て替えや修繕などが完了するか）
6. 外構（車庫や物置、庭など）の修繕・再建
7. インフラ（近隣の道路や水道、井戸など）の復旧
8. 宅地の地盤対策（地盤沈下や地盤崩壊への不安など）
9. 自宅周辺の土砂災害対策（自宅裏山の二次被害が不安など）
10. 転居後の新しい住まいでの近所づきあい
11. その他（ )
12. 特になし

問4 胆振東部地震からの復旧・復興に向けて、次のうち、特に期待する取り組みはどのようなものですか。【〇は3つまで】

1. 住宅の再建支援の継続
2. 心身の健康サポート
3. 声かけ・訪問などによる見守り活動
4. 農地の復旧・活用による農業の振興
5. 森林の再生と林業の復興に向けた取り組み
6. 商工業の振興や観光・交流の推進
7. 災害に強いまちづくりに向けた防災・減災への取り組み
8. 被災の記憶を継承するための取り組み
9. 特に被害が大きかった地域・集落の再生と活性化
10. 震災に伴う人口減少に対しての取り組み
11. その他（ )

問5 その他、復旧・復興に向けて不安に思うことや、必要だと思えば、下記に自由に記載してください。

## まちづくり全般についてお聞きします。

問6 あなたは、今後も厚真町に住み続けたいとお考えですか。次の中から選んでください。【〇は1つ】

1. ずっと住み続けたい ⇒問7へ
2. 当分は住み続けたい ⇒問7へ
3. いずれ町外へ引っ越したい ⇒問8へ
4. すぐに町外へ引っ越したい ⇒問8へ
5. わからない ⇒問9へ

問7 住み続けたい理由を、次の中から選んでください。【〇はいくつでも】

1. 子育てや教育の環境が良いから（保育や小中学校教育が充実しているなど）
2. 通勤・通学に支障がなく、適度に生活の利便性が良いから
3. 適度な医療・福祉サービスがあるから
4. 趣味や余暇の場があるから
5. 自分の仕事（なりわい）をするための環境があるから（農地や施設があるなど）
6. やりがいのある仕事ができるから
7. 緑や自然が豊かだから
8. 犯罪が少なく、治安が良いから
9. 歴史や文化などへの誇り・愛着があるから
10. 家や土地が広いなど住まいに満足しているから
11. 親族や友人がいて、人や地域とのつながりが強いから
12. 住み慣れているから
13. その他（ ）

問8 町外へ引っ越したい理由を、次の中から選んでください。【〇はいくつでも】

1. 子育てがしにくいから（保育や小中学校教育に不安を感じるなど）
2. 交通の便が悪いから（鉄道や路線バスなどの公共交通が不便など）
3. 福祉・医療サービス施設が不十分だから
4. 娯楽や余暇の場が少ない（仕事が終わった後や、休日に行く場所が無い）
5. 町内に適当な職場が少ないから（自分のしたい仕事が無いなど）
6. 高校・大学進学などに不安があるから
7. 自然環境が良くないから（冬の寒さや厳しさ、動物・虫が多いなど）
8. 自然災害等のリスクがあるから
9. 普段の買物が不便だから（行きたいお店やスーパーが少ないなど）
10. 適当な住宅や宅地がないから
11. 人間関係がわずらわしいから（自治会活動や近所づきあいが面倒など）
12. 家族や仕事の都合で引っ越さなければならないから
13. その他（ ）

問9 あなたは、現在、自分の住んでいる地区の活動に対して、以下のことをどう感じていますか。【それぞれ1つに○】

	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない
① 自分の地区では地域活動が活発	1	2	3	4
② 自分自身は積極的に地域活動に参加している	1	2	3	4
③ 自分の地区では、困っている人を助ける仕組みができています	1	2	3	4
④ 自分の地区では、日頃から防犯のための目配りができています	1	2	3	4
⑤ 自分の地区では、災害が起こってもみんなで助け合えると思う	1	2	3	4
⑥ 自分の地区では、環境美化活動に熱心である	1	2	3	4
⑦ 自分の地区では、地区の将来について話し合っている	1	2	3	4

問10 あなたは、現在の厚真町は、活力があると思いますか。【○は1つだけ】

- |   |
|---|
| 1. 活力がある<br>2. 多少活力がある<br>3. あまり活力がない<br>4. 活力がない<br>5. どちらともいえない |
|---|

問11 下記の点について活力があると感じますか。【それぞれ1つに○】

	活力がある	やや活力がある	あまり活力がない	活力がない
① 地域を支える産業	1	2	3	4
② 就業・起業環境	1	2	3	4
③ 子育て世代や若者世代の流入	1	2	3	4
④ 中心部ににぎわい	1	2	3	4
⑤ 余暇や趣味を楽しむ環境	1	2	3	4
⑥ 地域の活動（祭り・イベントなど）	1	2	3	4
⑦ 町内外のひとのつながり・交流	1	2	3	4

問 12 持続可能で活力のある厚真町の実現に向けて、次のうち特に期待する政策はどのようなものですか。【〇は3つまで】

1. ICT 導入や人材誘致による農林水産業の基盤強化
2. 多様な人材が共に暮らせるための福祉・医療の充実
3. 地域の人材を育成するための特色ある子育て・教育環境の充実
4. 起業家・厚真町で働きたい人材の広域確保と環境整備
5. 電子マネーの普及等による所得の域内循環の改善
6. 厚真・上厚真両市街地の都市機能の再編と魅力向上
6. 移住・定住を促進するための住宅・宅地整備
7. 公共交通ネットワーク・システムの再構築と ICT 技術の導入等による利便性向上
8. 町内の人と人とのつながりづくりと住民活動への支援体制の構築
9. 厚真町を応援してくれる個人・団体・企業との交流の継続・発展
10. その他 ( )

問 13 災害につよいまちの実現に向けて、次のうち特に重要だと思う取り組みはどのようなものですか。【〇は3つまで】

1. 災害リスク情報の提供（ハザードマップなどによる土砂災害・水害・津波の危険性に関する情報提供）
2. 災害対策施設の整備（治山・治水のための公共土木事業実施など）
3. 住宅の耐震化促進（個人住宅の耐震化を進めるための補助など）
4. 公共施設の耐震化（役場やその他公共施設の耐震化）
5. 避難路・避難場所の整備（安全な避難路や避難場所の確保・整備）
6. 避難所の環境整備（感染症対策に対応した避難所環境の整備など）
7. 備蓄の充実（備蓄品の充実や備蓄施設の整備）
8. エネルギーの自給（再生可能エネルギーの導入や、蓄電池などの整備）
9. 発災時の情報伝達体制の強化（防災行政無線やインターネットなどの環境整備）
10. 訓練の強化（地域での防災訓練・避難訓練の強化）
11. 要配慮者への支援体制整備（避難時や避難所での支援体制の整備）
12. 地域での防災活動の充実（自主的な防災組織の設置・活動充実）
13. その他 ( )

問 14 あなたは、自分の親しい人に、厚真町に住むことや訪れることを勧めたいと思いますか。【〇は1つ】

1. 勧めたい
2. どちらかといえば勧めたい
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば勧めたくない
5. 勧めたくない

問 15 「これからも大事にしたい厚真町の魅力」を、簡単な標語（テーマ）で表現する  
としたら、どのようなものが考えられますか。  
例）スローライフ、人のあたたかさ など

厚真町のまちづくりについて、ご意見・ご要望がありましたら、  
下記にご記入ください。

**ご自身についてお聞きします。**

問 16 あなたの性別はどちらですか。【〇は1つ】

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問 17 令和2年8月1日時点のあなたの年齢はどこに該当しますか。【〇は1つ】

- |         |         |          |         |         |
|---------|---------|----------|---------|---------|
| 1. 10歳代 | 2. 20歳代 | 3. 30歳代  | 4. 40歳代 | 5. 50歳代 |
| 6. 60歳代 | 7. 70歳代 | 8. 80歳以上 |         |         |

問 18 令和2年8月1日時点のあなたのお住まいの地域はどこですか。【〇は1つ】

- |         |         |        |        |        |
|---------|---------|--------|--------|--------|
| 1. 幌内   | 2. 富里   | 3. 高丘  | 4. 吉野  | 5. 東和  |
| 6. 桜丘   | 7. 朝日   | 8. 本郷  | 9. 幌里  | 10. 京町 |
| 11. 表町  | 12. 錦町  | 13. 本町 | 14. 新町 | 15. 宇隆 |
| 16. 美里  | 17. 豊沢  | 18. 上野 | 19. 豊川 | 20. 共栄 |
| 21. 富野  | 22. 上厚真 | 23. 共和 | 24. 厚和 | 25. 鯉沼 |
| 26. 浜厚真 | 27. 軽舞  | 28. 豊丘 | 29. 鹿沼 |        |

問 19 あなたの現在の住まいは次のうちどれにあてはまりますか。【〇は1つ】

- |                              |
|------------------------------|
| 1. 胆振東部地震の時の自宅と同じ            |
| 2. 一時的な住宅（仮設住宅、みなし仮設住宅など）    |
| 3. 再建した住宅（新築再建、民間アパートへの転居など） |
| 4. 地震による破損等に関係なく転居した         |

問 20 あなたの職業はどれですか。【〇は1つ】

- |             |             |        |          |        |
|-------------|-------------|--------|----------|--------|
| 1. 農業       | 2. 林業       | 3. 漁業  | 4. 建設業   | 5. 製造業 |
| 6. 商業・サービス業 | 7. 公務員・団体職員 | 8. 学生  |          |        |
| 9. 家事       | 10. パートタイム  | 11. 無職 | 12. その他（ | ）      |

※2つ以上の仕事をしている方は、一番所得を得ている職業に〇をつけてください。

**ご協力ありがとうございました。**